

富士の恵みの理想郷

富士地域の農林業施策を紹介します



目次

富士地域の概要		p 1
富士地域の農業と林業		p 1
魅力ある農林産物		p 2
具体的な取組内容		p 3 ~ 8
≪ 農村計画課・農地整備課 ≫		
県営農業農村整備事業		p10~21
ふじのくに美農里プロジェクト		p23~35
ふじのくに美しく品格のある邑		p36~42
しずおか棚田・里地くらぶ		p43
一社一村しずおか運動		p44
大倉川農地防災ダム		p46



富士地域の概要



・立地条件

海拔0メートル地帯から富士山頂まで3,776メートルの標高差を有し、富士山、愛鷹山を背に南西に広がる緩やかな傾斜地と、海岸線から8キロメートル以内の範囲に広がる平坦地で占められ、地質は肥沃となっています。

・気候条件

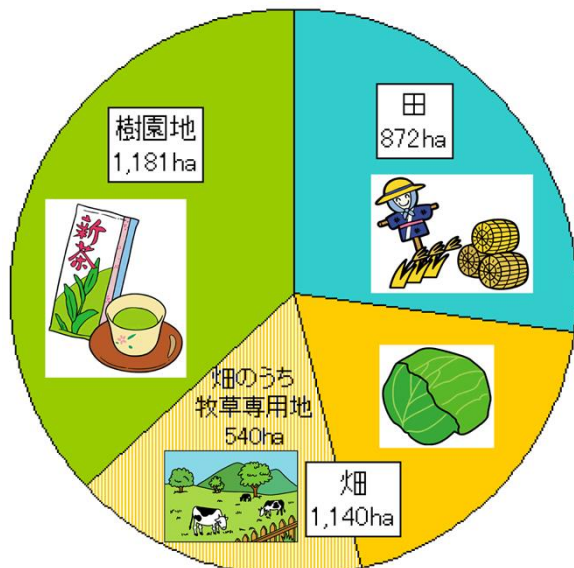
平均気温は、観測地点のある南部平坦地域では15.6℃、北部丘陵地域では南部平坦地と比較して約5度低いと推測されます。年間平均降水量は2,000～2,500ミリで、温暖多雨地域から冷涼多雨地域にまたがっています。

・交通、運輸条件

陸上輸送は、東海道新幹線、東海道本線、身延線及び岳南鉄道、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線、国道139号線、同西富士バイパスなどの幹線道路、海運の拠点である田子の浦港があり、地域産業の発展を支えています。

富士地域の農業と林業

■富士地域の耕地面積は5,160haで全県比の8.7%となっています。また、北部丘陵地には全県牧草専用地の約3/4を占める一大草地酪農地帯が形成されており、田畑を含め優良農地が広がっています。令和4年の農業産出額は318億円(全県比14.9%)で、作目別には畜産の220億円を筆頭に、野菜、米、茶、果実の順となっています。



農業経営体における経営耕地の状況
(2020年農林業センサス)

農業

耕地面積(R5)

5,160ha

田：1,412ha

畑：3,750ha

■富士山麓の緩傾斜地に広がる森林面積37,491haのうち、民有林の人工林面積は22,320ha、人工林率は78%です。また、人工林のうち46年生以上の利用可能な林齢の森林が約90%に達しています。林業・木材団体等では、地域で産出されるヒノキの「富士ひのき」産地化を目指して生産しています。管内の山林用苗木の生産は、全国的に有名で県内生産量の41.6%を占める主要生産地となっています。

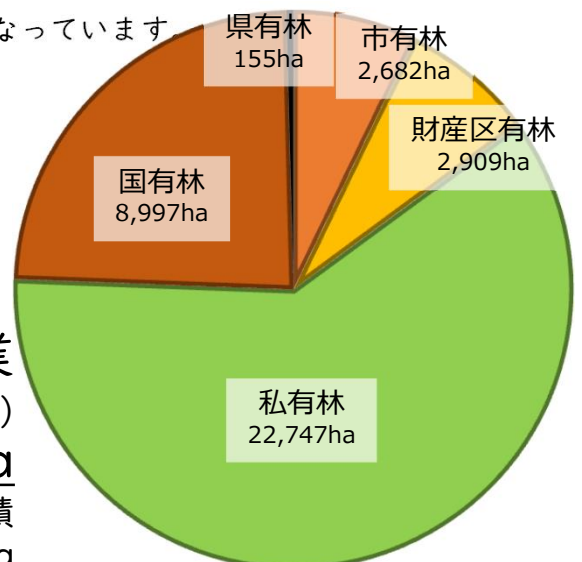
林業

森林面積(R6)

37,491ha

民有人工林面積

22,320ha



森林資源

(令和6年度静岡県森林・林業統計要覧)



富士山西麓に広がる人工林



岩本山の茶園から望む新東名高速道路と富士山

富士地域の特産品のご紹介



落花生

魅力ある農林産物



富士山西麓に広がる水田



みかん



キウイ



お米



牛肉・豚肉・鶏肉



いちご



梨

具体的な取組内容

～農業の生産性向上と環境負荷軽減の推進～

■意欲的な農業者への農地集積と農地の有効利用

優良農地の維持と生産コスト削減を図るため、農地中間管理事業や基盤整備による担い手への農地集積・集約化や園地改良を進めています。また、市・農業委員会・農協との連携により、地域計画の策定と荒廃農地の発生防止・利活用を推進しています。

さらに、作業効率の高い農業を展開するため、区画整理や農道、水利施設の整備を行っています。



富士宮市猪之頭の
基盤整備



地権者説明会



大規模养鸡場

■経営体の競争力強化

畜産地帯では、産出額増を目指して施設整備・自給飼料の生産拡大・畜産産地のブランド化を進めています。

茶業経営では、需要が見込まれる有機栽培茶やドリンク用原料茶生産などに取り組むとともに、茶の補完作物の導入を推進して、農家所得の改善を目指しています。

■耕畜連携の推進

家畜排せつ物に伴う環境問題が、畜産規模拡大の阻害要因となっている一方、肥料価格の高騰や有機茶の需要拡大を背景に、堆肥による土づくりが注目されています。

そこで、畜産・茶農家や関係機関で構成する協議会活動を通じて、堆肥利用の啓発を行うとともに、畜産農家と茶農家の連携による堆肥の流通方法等に関する意見交換の場を設け、堆肥のペレット化や設備・機械導入など、堆肥の利用拡大に向けた具体的な取組を支援しています。



実証ほにおける牛糞堆肥の機械散布



具体的な取組内容

～次代を担う農業経営体の育成・マーケティング戦略の推進～

■技術の開発と普及

ドローンによる農薬散布等のスマート農業や県オリジナル品種等優良品種の導入等、高度な技術の普及を進め、付加価値の高い高品質な農畜産物の生産と生産コストの低減を支援しています。施設園芸では、収量や品質を高めるため、温度、湿度、二酸化炭素濃度などの管理・制御する高度環境制御機器の導入を推進しています。



ドローンによる農薬散布の実演会



経営支援セミナーの開催

■人材の確保とビジネス経営体の育成

経営感覚に優れたビジネス経営体の確保・育成に向け、コンサルティング活動や専門家派遣、経営支援セミナーを開催しています。

また、就農希望者の相談業務や各種支援制度の活用により、独立就農や農業法人等への就職など新規就農の取組を支援しています。

市場のニーズに合致した新規作物導入の推進のための講習会を開催するなど、技術面での支援も行っています。

■地域食材を活用した商品開発の推進

生産者と「ふじのくに食の都づくり仕事人」を結びつけ、新たな付加価値を創出し、食材と食文化の情報を発信することにより、農業者の所得向上を通じた農業振興を図っています。

生産者と仕事人のマッチング、消費者との交流会を行い、特産の「ほうじ茶」や「梨」を活かした新商品・新メニューが開発されています。



生産者とシェフを交えたレストランイベント

具体的な取組内容

美しく活力のある農山村の創造

■地域協働活動の強化

高齢化・混住化等により、農村環境を守る集落機能の低下が危惧されています。また、共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の保全管理に対する担い手農家の負担増加も懸念されています。

このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行う「ふじのくに美農里プロジェクト(多面的機能支払交付金制度)」を推進します。



ふじのくに美農里プロジェクト（富士東部地区）



天子ヶ岳における日本大学生との芋定植活動

■鳥獣被害対策の推進

富士地域では、ニホンジカを中心として鳥獣被害が多く発生していることから、富士地域鳥獣被害対策連絡会を開催し、総合的な被害防止対策を推進しています。

また、市鳥獣被害防止対策協議会の活動を支援し、地域が一体となって対策に取り組むための住民参加型研修会を開催するほか、捕獲した獣肉の食肉としての利用拡大を進めています。

■企業と農村の協働

静岡県では、美しい景観と、県土の保全・水源のかん養など多面的機能を持つ農山村地域の活性化を図るため、多様な主体の参画による農山村づくりを推進しています。

近年、地域社会への貢献に関心の高い企業が増えている一方、過疎化や高齢化が進む農山村では農業の生産活動の維持に向けて新たなパートナーを求めています。農山村と企業、双方にメリットのある協働活動を目指す「一社一村しずおか運動」に取り組んでいます。



住民参加型の電気柵設置研修会



具体的な取組内容

美しく活力のある農山村の創造 つづき

■農山村環境の整備・管理

担い手農家が農業経営をしやすい農地整備等を進めるとともに、農村地域に住みやすい生活基盤整備を進め、農村地域の営農活動・地域振興の活性化を進めます。

また、県民の暮らしを守る機能を強化するため、洪水、湛水を未然に防止する施設整備・管理を進めます。富士農林事務所では、芝川下流の農地を守るため、大倉川農地防災ダムの施設管理・操作を行っています。



「茶の間」の設置

■ふれあいの場としての農山村の活用

多様なニーズに対応した市民農園や学校で農業体験活動を行う体験農園などの開設とその運営を支援しています。

他にも、農業分野での障害のある人の就農を支援する「農福連携」の取組を進めています。

また、ふじのくに美農里プロジェクトでは、地域の子どもたちへの食育活動や農村の伝統文化の継承のため、農作物の植付け、収穫作業の場を提供しています。



農村活性化施設「富士山縄文の里大鹿館」

■地域資源を活用した

農村コミュニティの活性化

富士地域の自然、伝統文化や富士山を中心とした景観等の恵まれた農山村フィールドと人材を活用し、新たに利益を生みだしたり、地域住民が交流したりする場の整備に係る支援を行っています。

創造した場で国内外からの来訪者に対する農業体験や自然体験等の観光コンテンツ等の提供を進め、農村コミュニティの活性化を図ります。



地域の児童による田植風景（富士宮市）

具体的な取組内容

県産材の供給能力の向上

昭和31年から34年にかけて、県の重要事業の一つとして実施した、富士山麓林業開発事業を契機に、ヒノキを主体とした人工林が造成されました。

現在では、その多くの森林が利用時期に達しています。

充実した森林資源を活用するため、施業の集約化と作業の機械化による木材の安定供給体制の整備を図るとともに流通改革、製材加工体制の充実に取り組んでいます。

■安定供給体制の構築

林業労働力確保の促進に関する法律に基づく経営意欲の高い林業事業体を林業事業主として認定し、事業の合理化や雇用管理の改善を支援しています。また、木材生産の効率化や低コスト化を図るため、林道等の基盤整備と作業の機械化を進めています。



林内作業と輸送・流通の効率化を担う林道整備
(富士宮市・林道天子ヶ岳線)



高性能林業機械(ハーベスタ)の
導入(富士宮市)

■人材の育成及び確保

林業への就業を求める人や労働力確保を検討する雇用主に対して、就業説明会の情報等の提供や業務委託により雇用機会を創出することにより、林業従事者の確保・育成を図っています。また、林業従事者の技術向上に対して、国県の実施する研修制度の情報を提供するとともに、技術者登録制度への登録を進めています。



林業従事者に対する技術研修
(緑の雇用事業)

■流通改革の促進

製材工場の求めに応じて、迅速に樹種・径・長さを選別できる設備の導入、はい積作業の機械化等により原木市場の効率化や低コスト化を支援しています。また、原木の取引は、入札制度に加えて、相対取引や大型製材工場等との協定取引の導入により、市場を経由しない山土場渡しなどの検討を通じて、流通の合理化や定時定量の出荷体制の構築を支援しています。



原木市場の再編整備
(富士木材センターに導入された選別機)



具体的な取組内容

県産材の需要拡大

平成25年度に、富士地区林業振興対策協議会(以下「林対協」)は、富士山の環境保全に貢献し、世界文化遺産の価値を高めることにつながる新ブランド「FUJI HINOKI MADE」(以下「FHM」)を創設しました。

FHM材の販路拡大のため、平成29年7月には「フジヒノキメイド有限責任事業組合」(以下「LLP」)が設立されました。



(有)まるいチップ工業 フジヒノキメイド工場

県では、住宅を建築する県民に、県産材の家づくり支援制度を活用して、建築費の助成をするとともに、公共施設などへの県産材活用を進めるため、県産材利用推進富士地域連絡会を開催して、県産材の活用事例等の情報交換を進めています。

森林の保全

治山工事により台風、地震などによる山崩れや、溪流の土砂流出等の災害から県民の生命・財産を守り、災害に強く安全で暮らしやすい県土づくりに努めています。

快適で健全な県民生活に欠かせない水源等、特に重要な森林は保安林に指定し、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されるよう適正な管理をしています。また、林地開発許可制度により、森林の大切な働きを無秩序な開発から守っています。



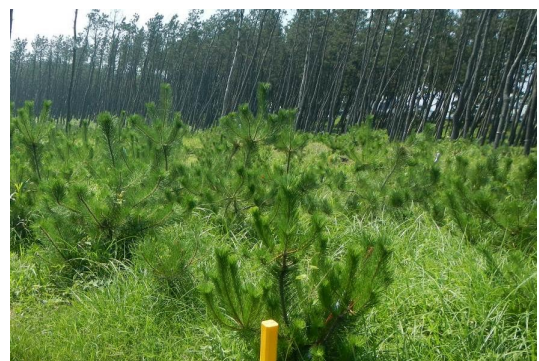
台風後の河川氾状況(富士宮市)



流路を固定し乱流を防止する



塩害等の被害を受けた松林(富士市)



抵抗性クロマツを植栽し、松林の回復を図る

M E M O

県営農業農村整備事業

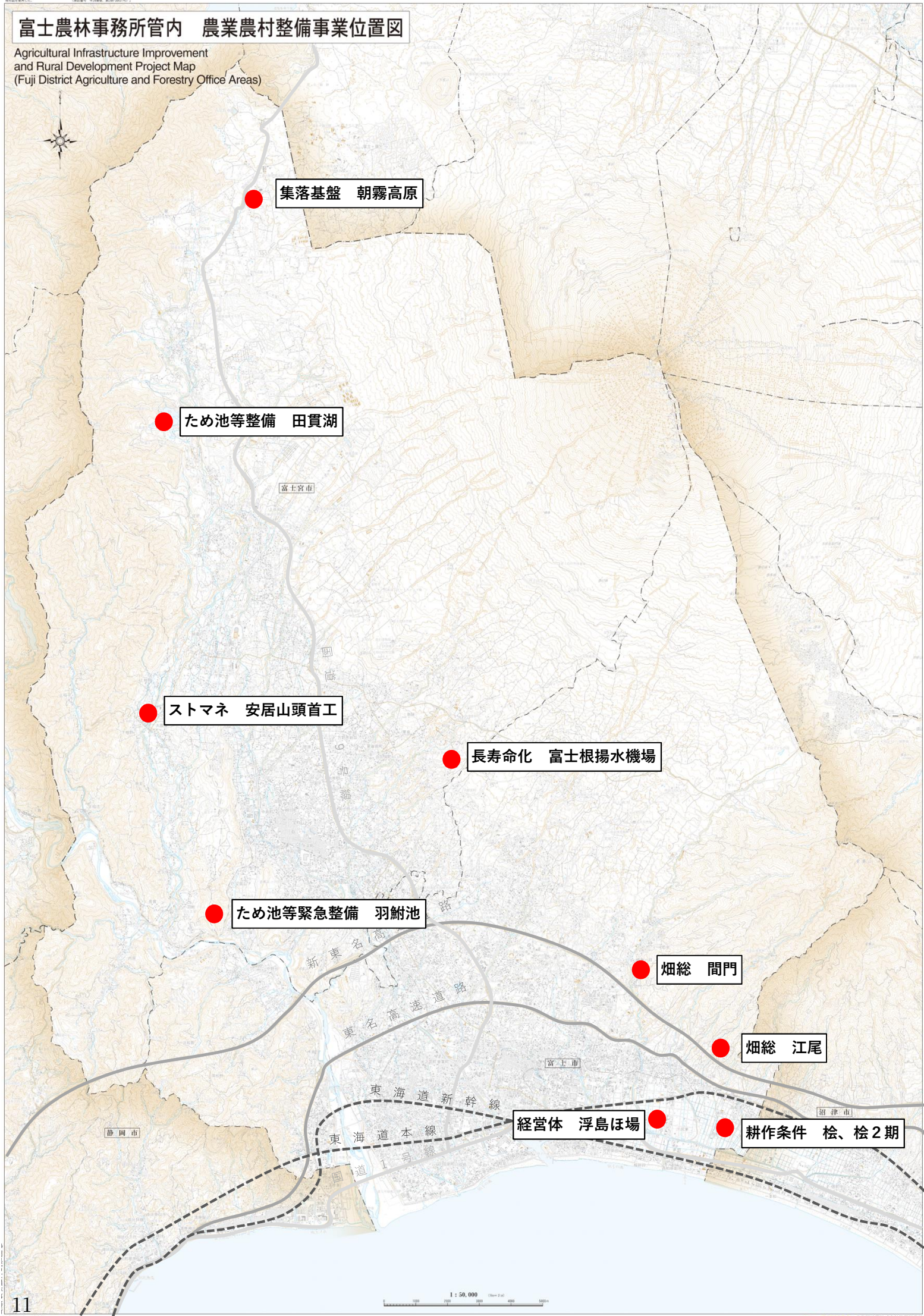
(単位：千円)

市名	事業名 (県事業名)	地区名	工期	総事業費	R7 (要求額)	R6当初 (繰越)	R6補正 (繰越)	R7当初 (割当額)	R8以降 (要求額へ-ス)	事業内容等
富士宮市	集落基盤整備	朝霧高原	H25～R7	2,109,000	97,000	65,290		97,000	231,206	ほ場整備 1箇所 10.5ha 農道 5路線 3,846m 集落道 4路線 1,656m 用排水路 2路線 140m 集落排水路 1路線 387m 営農飲雑用水路 9,375m
	基幹水利施設ストックマネジメント	安居山頭首工	R3～R6	774,000		9,080		0	262,000	頭首工改修 N=2箇所
	ため池等整備	田貫湖	R4～R6	119,750		30,940		0	2,000	緊急放流工 N=1箇所
	ため池等緊急整備	羽鮒池	R5～R8	130,000	7,000			20,000	104,000	(R4補正局明許事業費：6,000千円 R5当初事業費：6,000千円)
	農業水利施設長寿命化・防災減災事業	富士根揚水機場	R7	42,000	42,000			40,700	0	揚水機場更新 1箇所
	計	5地区		3,174,750	146,000	105,310	0	157,700	599,206	
富士市	経営体育成樹園地再編整備(担い手育成) (耕作条件改善事業)	江尾 (江尾2期)	R2～R7	963,000	200,000	36,380		62,500	308,000	区画整理 19.7ha (受益面積 17.2ha)
	経営体育成樹園地再編整備(担い手育成)	間門	R4～R9	271,000	50,000	13,618	11,000	35,000	127,000	区画整理 7.2ha (受益面積 6.5ha)
	耕作条件改善事業	桧	R5～R7	120,000	9,740	20,000		9,682	4,500	用水路工 3,300m
	耕作条件改善事業	桧2期	R7～R8	100,000	70,000			69,500	30,000	用水路工 1,800m
	経営体育成基盤整備(促進費)	富士東部	R5～R7	92,620				0	11,030	事業主体：富士東部土地改良区 事業内容：ハード事業の借入金の償還金に充当
	経営体育成(水利区域内集積促進)	浮島ほ場	R6～R12	942,000	144,000			130,000	773,000	用水路工 A=118ha 排水路工 A=118ha 客土工 A=14.6ha、客土深さ15cm
	計	6地区		2,488,620	473,740	69,998	11,000	306,682	1,253,530	
合 計		11地区		5,663,370	619,740	175,308	11,000	464,382	1,852,736	

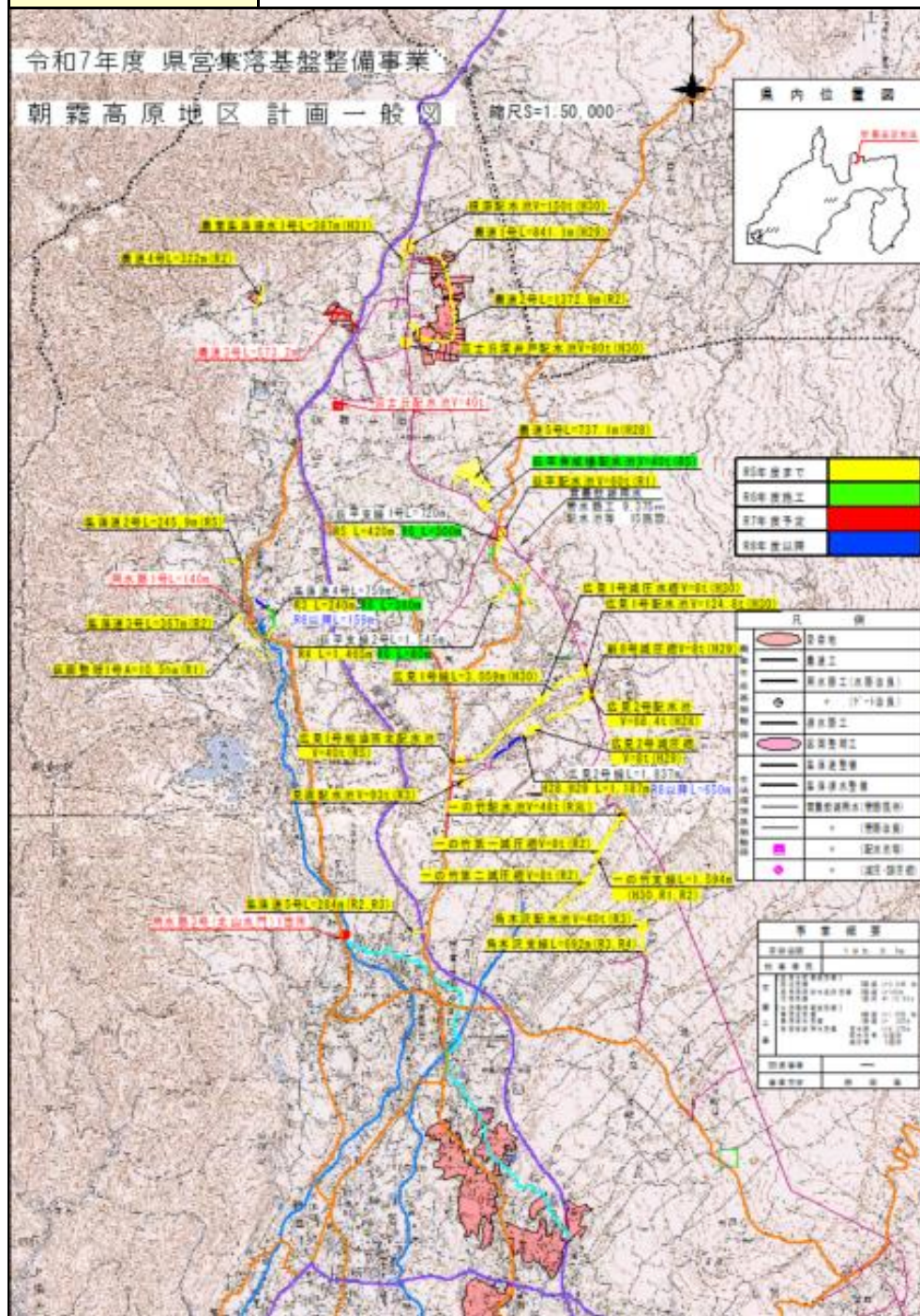
※ 富士東部地区、江尾地区、間門地区の総事業費は促進費を含まない。

富士農林事務所管内 農業農村整備事業位置図

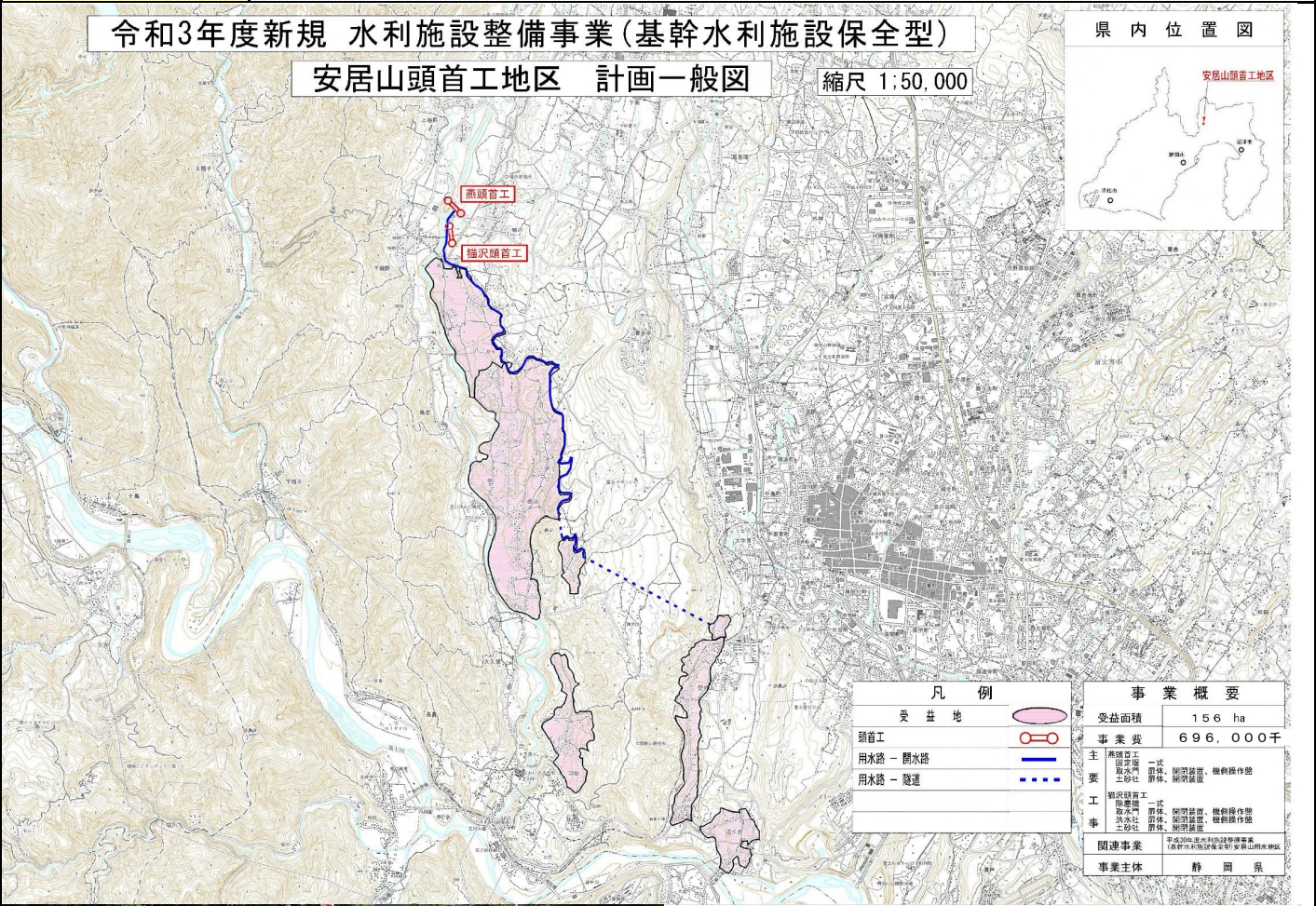
Agricultural Infrastructure Improvement
and Rural Development Project Map
(Fuji District Agriculture and Forestry Office Areas)



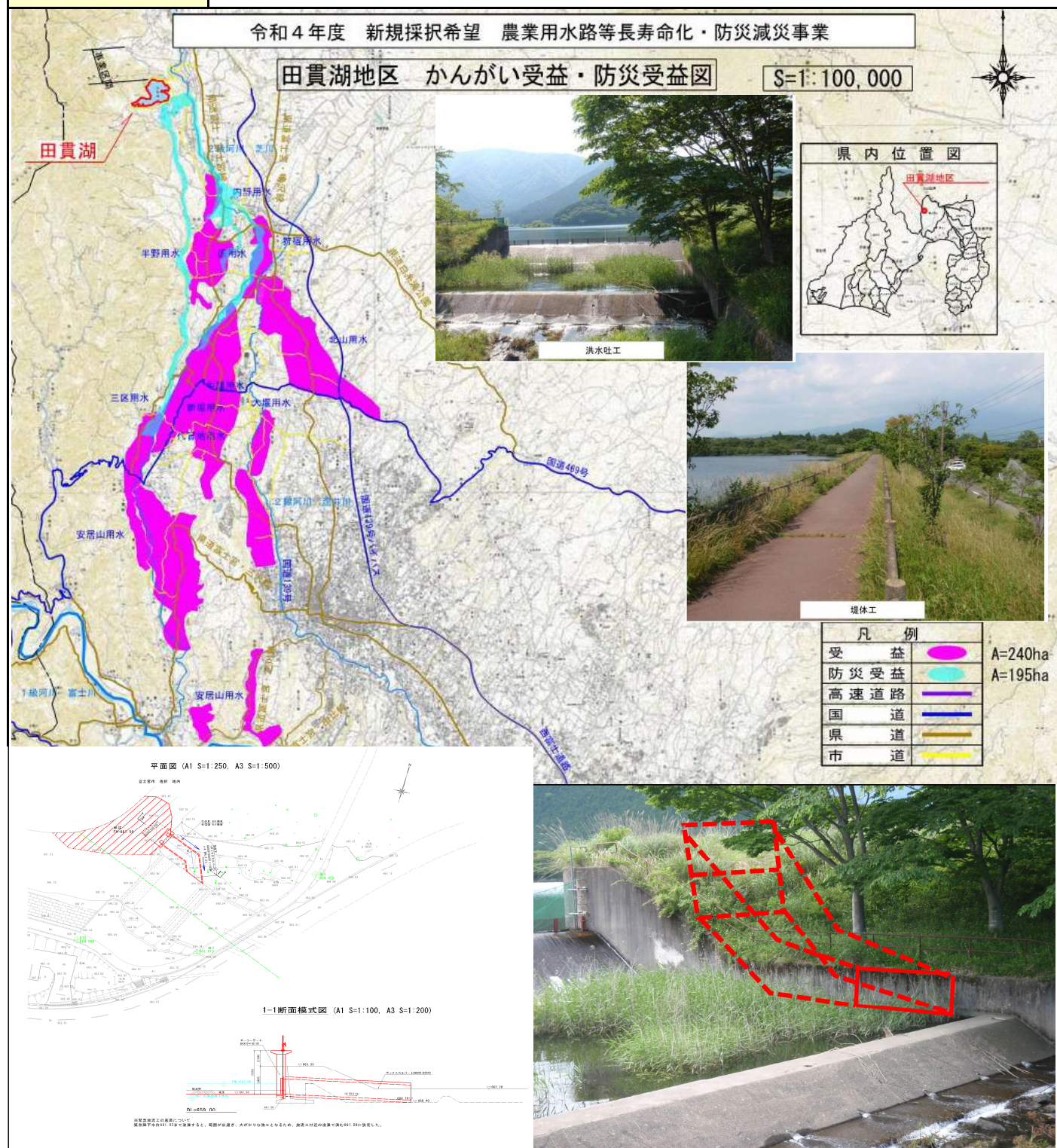
集落基盤整備	あさきりこうげん 朝霧高原	富士宮市	受益面積 戸数	198ha / 969戸	工期	H25~R7		
総事業費	R6まで		R7執行額	進捗率	R8以降残	国	県	地元
2,097,000 千円	1,734,794 千円		97,000 千円	87%	265,206 千円	50	25	25
事業内容	ほ場整備 1箇所 10.5ha 農道 5路線 3,846m 用排水路 2路線 140m 営農飲雑用水路 9,375m 集落道 4路線 1,656m 集落排水路 1路線 387m 配水池・調圧槽 15箇所							



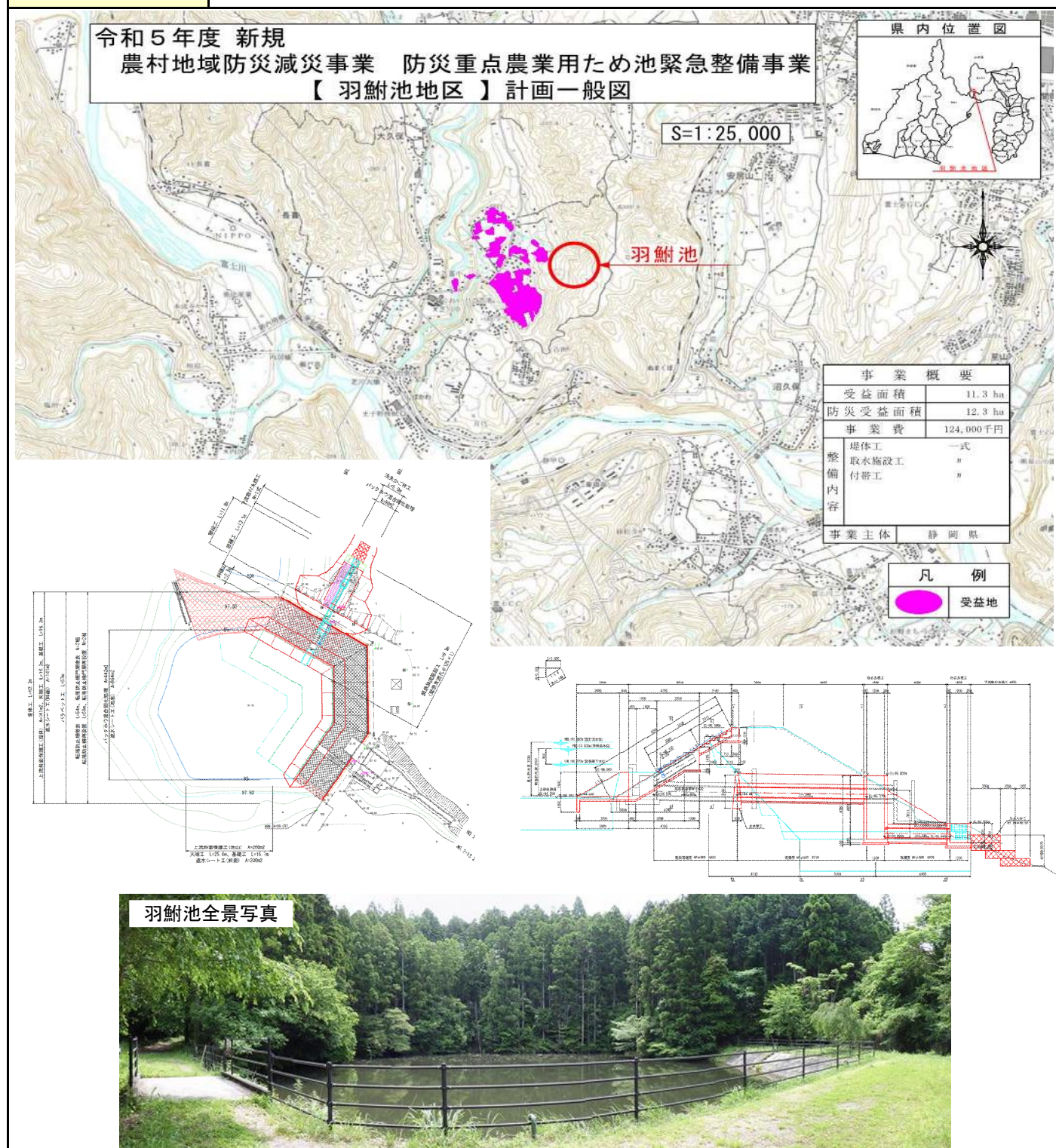
基幹水利ストックマネジメント	安居山頭首工	富士宮市	受益面積 /戸数	156ha / -	工期	R3～R6		
総事業費	R6まで	R7執行額		進捗率	R8以降残	国	県	地元
512,000 千円	502,920 千円	9,080 千円		100.0%	0 千円	50	25	25
事業内容	・頭首工更新 N=2箇所							



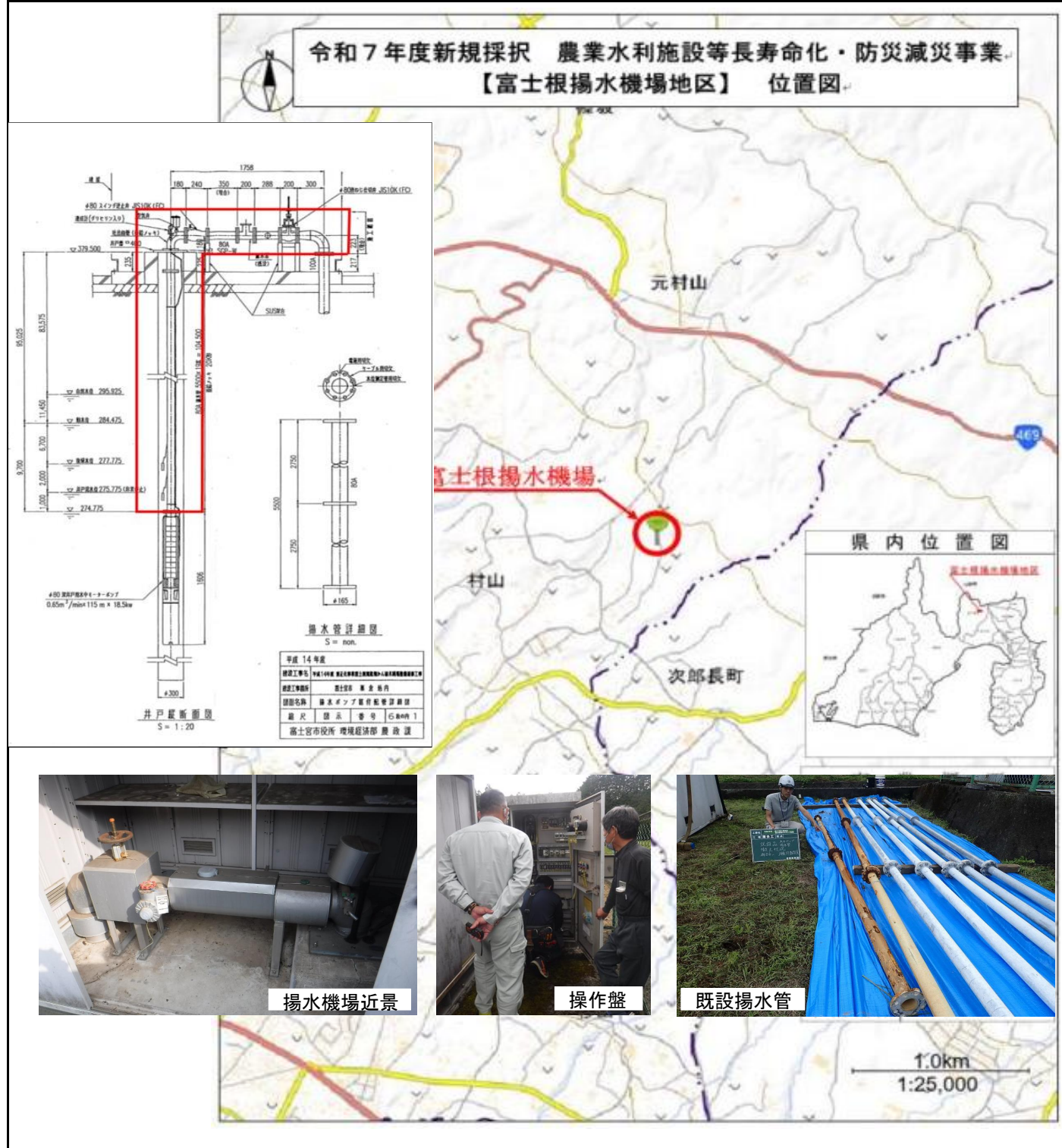
ため池等整備	田貫湖	富士宮市	受益面積 /戸数	防災195ha 灌漑240ha	-	工期	R4～R7		
総事業費	R6まで		R7執行額		進捗率	R8以降残	国	県	地元
117,750 千円	86,810 千円		30,940 千円		100%	0 千円	100	0	0
事業内容	・緊急放流工 N＝1 式								



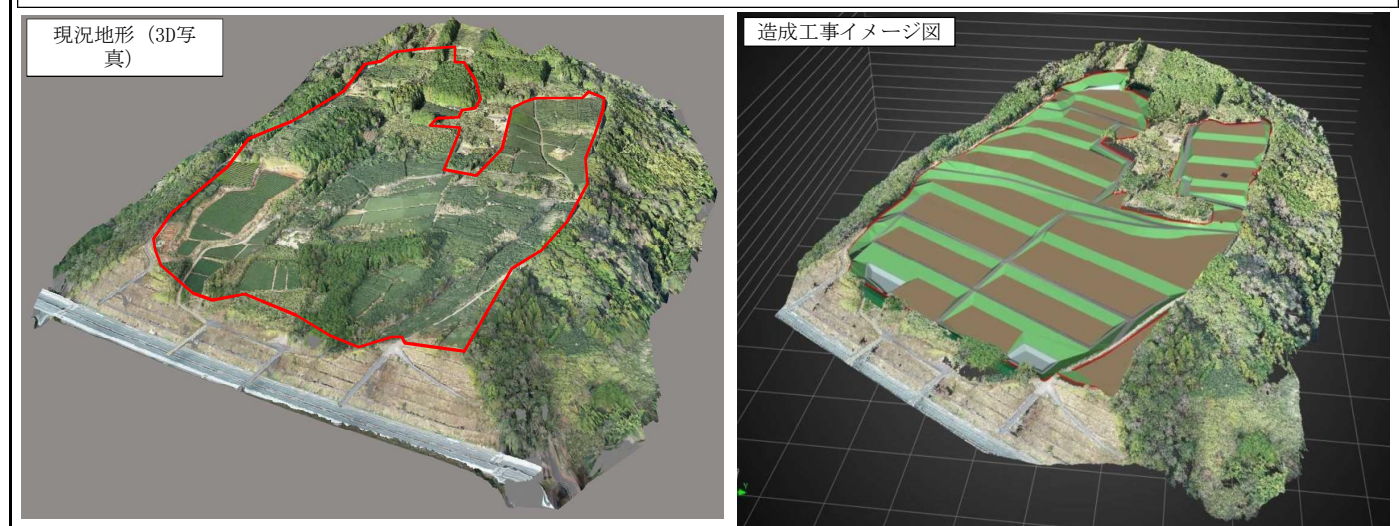
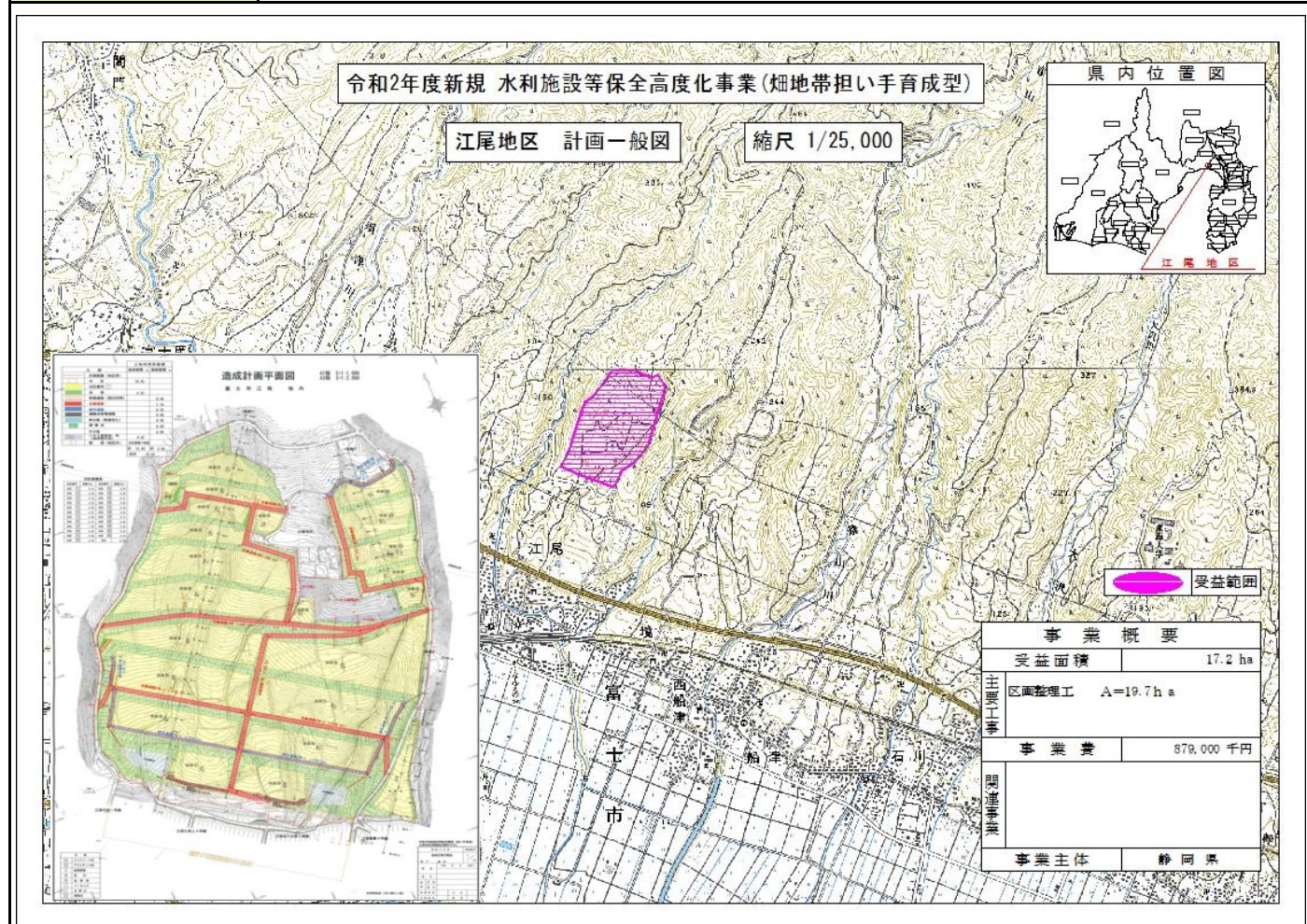
ため池等整備事業	羽鮒池	富士宮市	受益面積 /戸数	防災 12.3ha 灌漑 11.3ha /	-	工期	R5~R8		
総事業費	R6まで		R7執行額		進捗率	R8以降残	国	県	地元
130,000 千円	19,000 千円		20,000 千円		30.0%	91,000 千円	50	25	25
事業内容	ため池改修工事 堤体工 1 式 取水施設工 //								
	付帯工 //								



ため池等整備事業	富士根揚水機場	富士宮市	受益面積 /戸数	77ha / 358戸	工期	R7		
総事業費	R6まで		R7執行額	進捗率	R5以降残	国	県	地元
42,000 千円	0 千円		42,000 千円	100.0%	0 千円	50	25	25
事業内容	機場付帯設備更新工 1 式							



経営体育成樹園地再編整備（担い手育成）	えの 江尾	富士市	受益面積 /戸数	17.2ha / 41戸	工期	R2～R7		
総事業費	R6まで		R7執行額	進捗率	R8以降残	国	県	地元
1,114,875 千円	418,620 千円		208,180 千円	56.2%	488,075 千円	50	30	20
事業内容	・区画整理工 A=19.7ha							



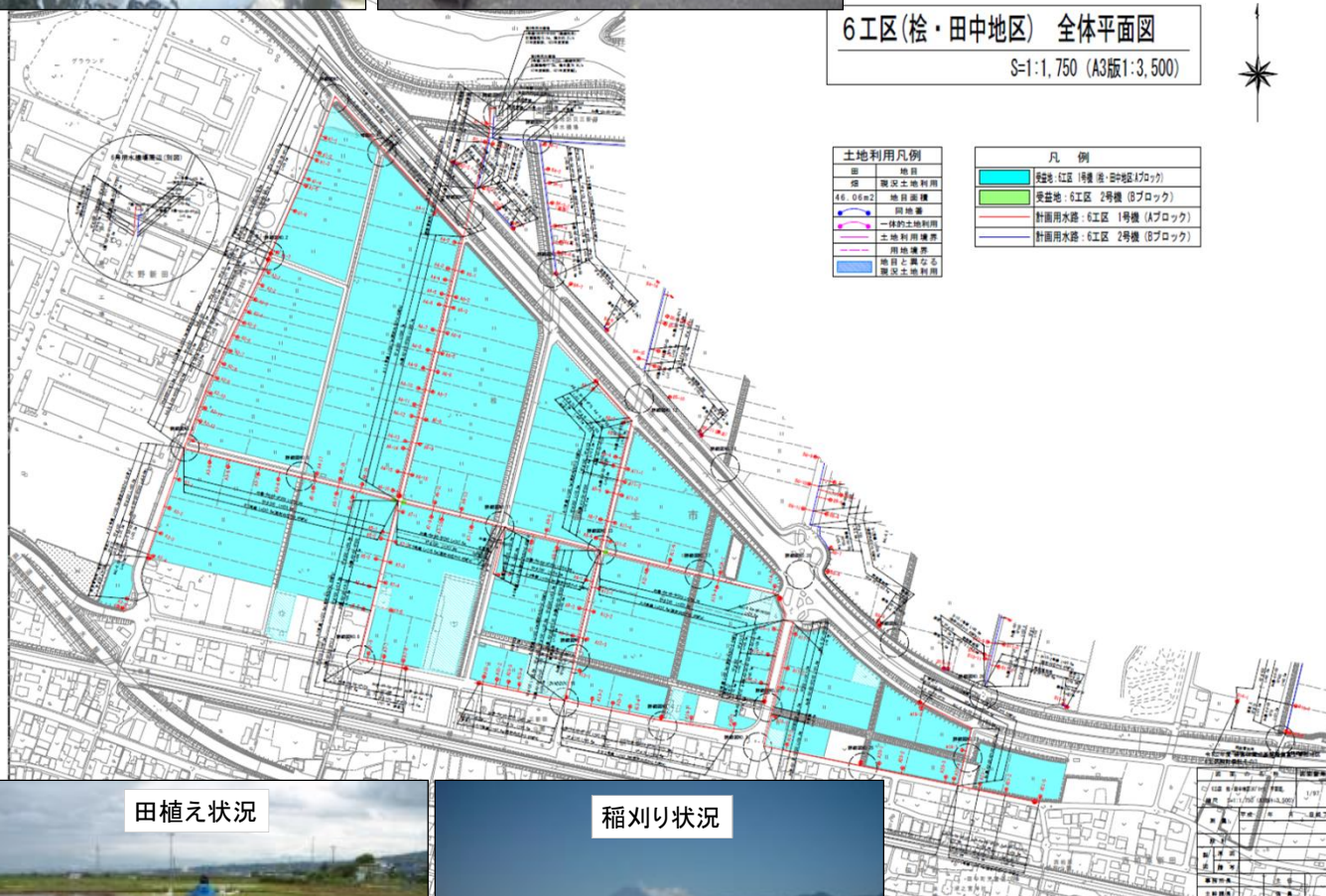
耕作条件改善事業	桜	富士市	受益面積 /戸数	11.1 / 80	工期	R5～R7			
総事業費	R6まで		R7執行額		進捗率	R8以降残	国	県	地元
120,000 千円	85,760 千円		29,682 千円		96%	4,558 千円	50	30	20
事業内容	・用水路工 L=1,500m								



既設管路漏水状況



既設管路破損状況



田植え状況



稲刈り状況

耕作条件改善事業	桜2期	富士市	受益面積 /戸数	8.8 / 44	工期	R6～R7			
総事業費	R6まで		R7執行額		進捗率	R7以降残	国	県	地元
110,000 千円	0 千円		69,500 千円		63%	40,500 千円	50	30	20
事業内容	・用水路工 L=1,800m								



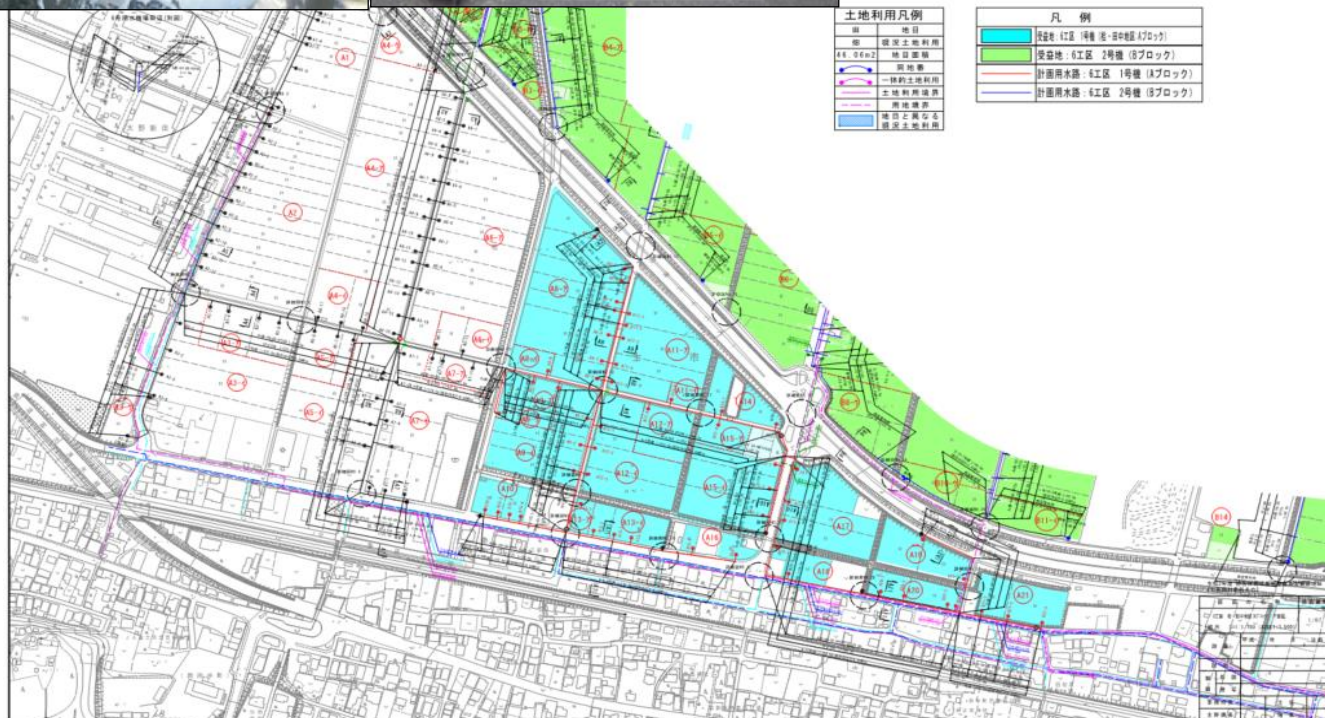
既設管路漏水状況



既設管路破損状況

6工区(桜2期地区) 全体平面図

S=1:1,750 (A3版1:3,500)

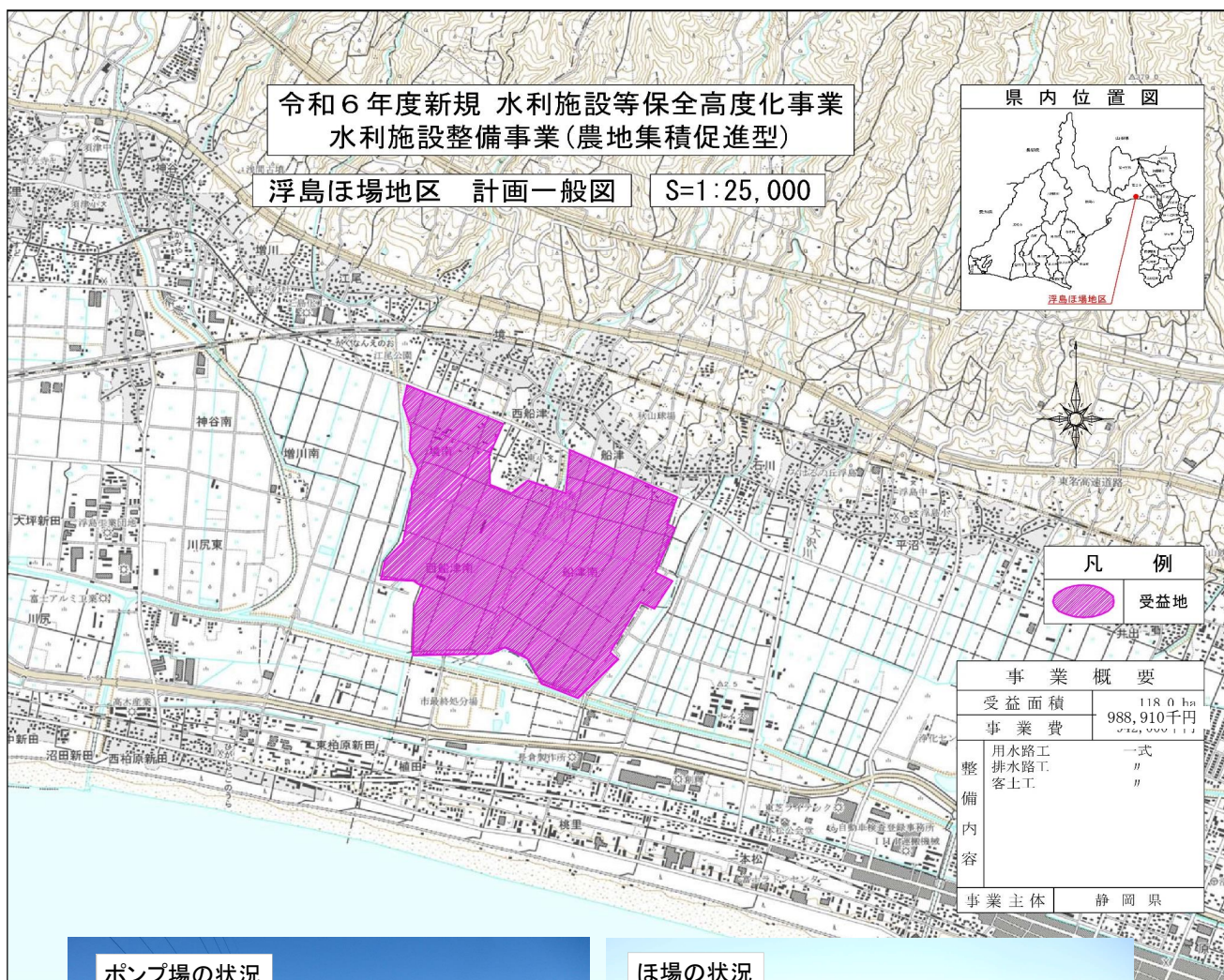


田植え状況



稲刈り状況

水利施設等 保全高度化	うきしま じょう 浮島ほ場	富士市	受益面積 /戸数	118ha / ー	工期	R6~R12		
総事業費	R6まで		R6執行額	進捗率	R6以降残	国	県	地元
1,043,300 千円	25,000 千円		130,000 千円	15%	888,300 千円	50	30	20
事業内容	・用水路工 A=118ha ・排水路工 A=118ha ・客土工 A=14.6ha、客土深さ15cm							



M E M O

「ふじのくに美農里プロジェクト」

多面的機能支払（農地維持支払・資源向上支払）

農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進するため、農地・農業用水等の資源について、農業者のみならず地域住民等多様な主体が参画して行う地域ぐるみの効果の高い共同活動へ活動組織内の農地面積に応じて交付金を交付する。

※負担割合：国 50%、県 25%、市町 25%

①農地維持支払：施設点検・計画策定、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利補充

単 価 水田：3,000円/10a、畑：2,000円/10a、草地：250円/10a

※農業者のみの活動でもよい（非農業者の参加を要件としない）

②資源向上支払(共同活動)：施設の軽微な補修、農村環境保全、多面的機能の増進

単 価 水田：2,400円/10a、畑：1,440円/10a、草地：240円/10a

※農地維持支払と併せて取り組むこと

※活動開始から5年間は交付単価が100%であるが、それ以降は75%となる

※多面的機能の増進に取り組まない場合は交付単価の5/6を乗ずることとなる

③資源向上支払(長寿命化)：水路、農道などの施設の老朽化部分の補修や更新

単 価 水田：4,400円/10a、畑：2,000円/10a、草地：400円/10a

○多面的機能の更なる増進に向けた活動への支援

単 価 水田：400円/10a、畑：240円/10a、草地：40円/10a

※多面的機能の増進を図る活動の取組数を新たに1つ以上増加される場合に加算

○農村協働力の深化に向けた活動への支援

単 価 水田：800円/10a、畑：480円/10a、草地：80円/10a

※多面的機能の更なる増進に向けた活動に加え、構成員のうち非農業者等が占める

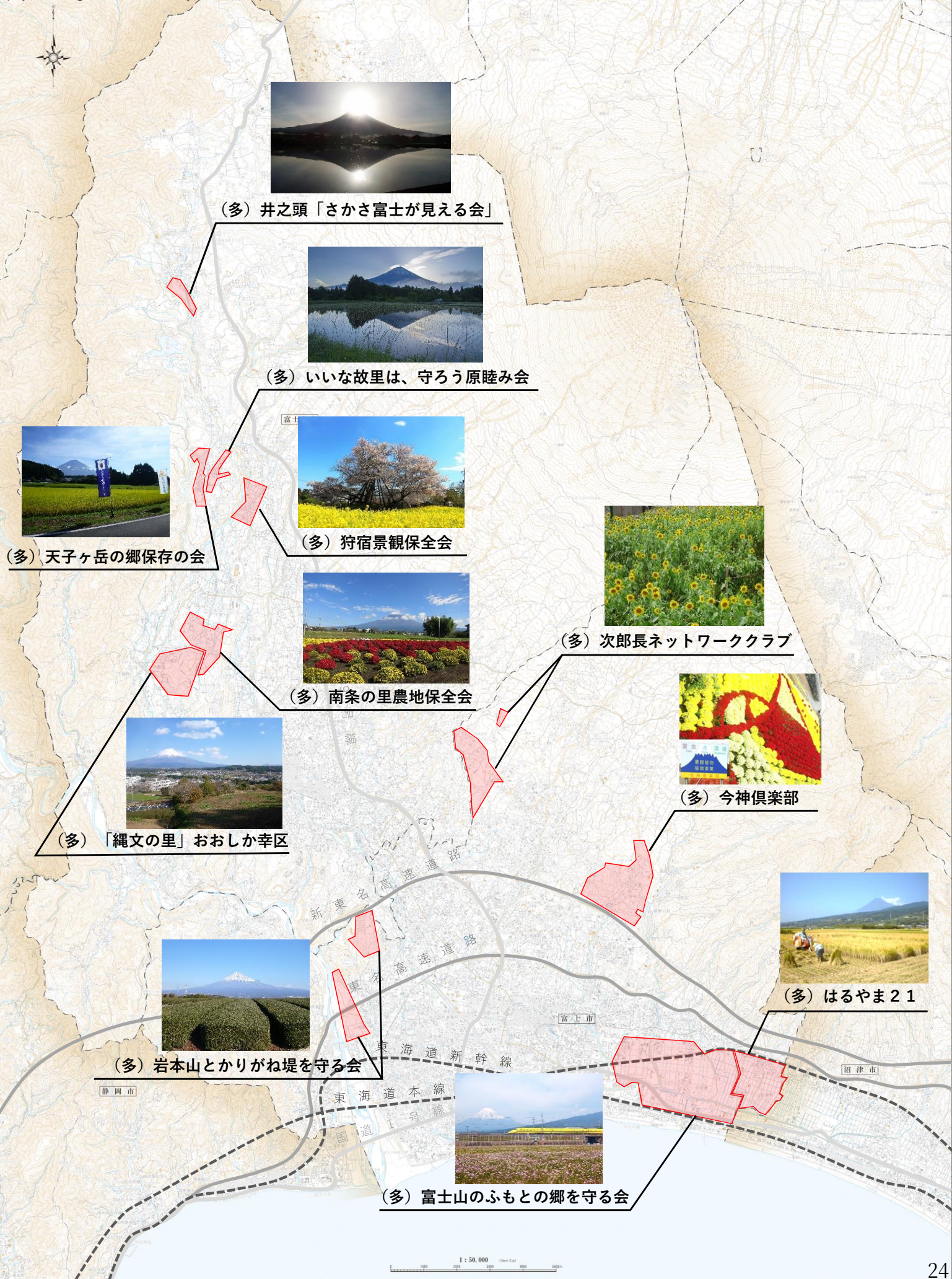
割合が4割以上かつ実践活動に構成員の8割以上が毎年度参加する場合に加算

□ 共同活動実施地区（R7.4現在の活動見込み）

市町村名	地区名		活動組織名	協定面積 ha	採択年度
富士市	1	沼 川	富士山のふもとの郷を守る会	289.8	H19
	2	今宮・神戸	今神倶楽部	116.8	H20
	3	浮 島	はるやま21	107.5	H21
	4	富士西	岩本山とかりがね堤を守る会	118.2	H24
	5	大淵西	次郎長ネットワーククラブ	37.5	H29
	5地区			669.8	
富士宮市	6	白糸原	いいな故里は、守ろう原睦み会	32.6	H19
	7	白糸半野佐折	天子ヶ岳の郷保存の会	40.8	H22
	8	大鹿窪	「縄文の里」おおしか幸区	17.7	H19
	9	下条下区	南条の里農地保全会	56.5	H23
	10	狩宿区	狩宿景観保全会	12.7	R6
	11	猪之頭区	井之頭「さかさ富士が見える会」	10.1	R6
	6地区			170.4	
計	11地区			840.2	

富士農林事務所管内 農業農村整備事業位置図

Agricultural Infrastructure Improvement
and Rural Development Project Map
(Fuji District Agriculture and Forestry Office Areas)



協定面積 (ha)	田	253.84	対象農用地 (ha)	田	253.84	対象資源	数量
	畑	35.98		畑	35.98	農用地	289.82 ha
	草地	—		草地	—	開水路	37.0 km
	計	289.82		計	289.82	パイプライン	51.4 km
組織の構成員	農業者：1123人（富士東部土地改良区） 非農業者：須津幼稚園、富士山れんげの会、(有)富士鷹ゴム、森十建設、(有)山田土木、(株)柳下建設、亀井ビルド-ザ-工事(有)					ため池	8 箇所
						農道	43.7 km

地域の紹介

かつては生産性の低い低湿地帯であったが、昭和48年から10年間に及ぶほ場整備事業により、農道やかんがい施設が整備されたことで、農業生産・農業経営の拡大化に繋がり、良質な米などを生産する広大な優良農地へと生まれ変わった。また、富士山を背景に時折走り抜ける新幹線と田んぼ一面に咲き誇るれんげといった素晴らしい景観を誇る。

活動内容

- ・農道、農地、ため池、パイプラインの雑草対策、初期補修、異常気象後の見回り、通水試験、破損箇所の補修
- ・広報活動(地域紹介のパンフレット作成、看板作成)
- ・学校教育(幼稚園児)との連携(レンゲ種蒔き・摘み取り)
- ・生物の生息状況の把握

地域の将来像

地域の学校や企業、住民組織などと協力して農地保全や環境教育などを今後も行っていくことで、農業や環境の役割と大切さを教えるとともに、これに親しむ心を育てていく。また、素晴らしい景観を観光資源とするため、れんげの種蒔き面積をさらに拡大させ、そこでれんげを肥料として栽培される「れんげ米」のブランド化にも繋げていく。

課題

- ・パイプラインの更新
- ・農地中間管理事業による担い手の集積

抱負・コメント

農業者と非農業者が連携・協働していくことで素晴らしい景観や文化を後世に伝えていく。



外来生物の駆除



学校教育等との連携(レンゲの種蒔



富士山と新幹線とれんげが織りなす風景



看板作成（ごみ捨て禁止看板）

今神倶楽部

活動地域：富士市 今宮 神戸ほか

協定面積 (ha)	田	-	対象農用地 (ha)	田	-	対象資源	数量
	畑	116.8		畑	116.8	農用地	116.8 ha
	草地	—		草地	—	開水路	-
	計	116.8		計	116.8	パイプライン	34.0 km
組織の構成員	農業者：272人 非農業者：JA富士市北部支店、神戸消防隊、今宮消防隊					ため池	-
						農道	35.2 km

地域の紹介

富士山麓の丘陵地に位置し、平成11年度から平成21年度にかけて行われた県営畑地帯総合整備事業により、農道やかんがい施設が整備されたことから、良質な茶、しきみなどの産地となっている。特にしきみは日本三大産地として知られている。



農業用施設の点検

活動内容

- ・遊休農用地の発生状況の把握
- ・施設の点検、巡回、草刈り、機能診断、破損施設の改修
- ・機能診断、補修技術の研修
- ・通水試験(凍結対策)
- ・農業用水の地域利用化、農業用水を利用した消防訓練
- ・ドーム菊を用いた景観形成活動



大雨で被害を受けた農道の補修

地域の将来像

富士山麓の景観保全活動の継続とドーム菊の植栽範囲の拡大による景観形成活動の更なる充実を目指すほか、地域行事において積極的に活動のPRを行うことにより活動参加者の拡充を図るとともに地域内での協働活動の幅を広げていく。



農業用水を利用した消火訓練

課題

- ・鳥獣害対策(特に鹿)
- ・資源向上活動(長寿命化)の継続及び交付金の有効活用

抱負・コメント

- ・様々な行事を通してさらに地域住民との交流を深めていく。
- ・地元農協職員を構成員とすることで、迅速に活動できる体制を取っている。
- ・資源向上活動(長寿命化)を活用し、ポンプの改修を行っていく。



ドーム菊による景観形成活動

協定面積 (ha)	田	100.0	対象農用地 (ha)	田	100.0	対象資源	数量
	畑	7.5		畑	7.5	農用地	107.5 ha
	草地	—		草地	—	開水路	19.3 km
	計	107.5		計	107.5	パイプライン	18.6 km
組織の構成員	農業者：361人 非農業者：部農会、浮島土地改良区、水耕部会、富士市立東小学校、境地区・西船津地区・船津地区町内会、まちづくり協議会					ため池	2 箇所
						農道	18.9 km

地域の紹介

かつては浮島沼と呼ばれた低湿地帯であったが、県営土地改良事業により、農道やかんがい施設が整備され、良質な米などを生産する広大な優良農地へと生まれ変わった。北に富士山と愛鷹山を仰ぎ、活動エリアの中心には、活動組織の名前の由来となった春山川が流れている。



農道の砂利敷き

活動内容

- ・農地の保全や水路、ため池、農道の点検・補修
- ・農業者と地元町内会連携による開水路の泥上げ
- ・地元小学校との田植え、稲刈りなどの農業体験
- ・水仙などの景観植物の植栽
- ・パンフレットによる地域への活動周知



小学生の田植え体験

地域の将来像

農業者と非農業者が一体となって、今後も農村環境の保全を図るとともに、次世代を担う子供たちに体験学習等を通して、農業や農村環境への関心をさらに高めていく。また、景観形成活動についても地域で連携して取組を発展させていく。



地域の草刈り

課題

- ・若い世代の参画

抱負・コメント

- ・パンフレットを活用して、より多くの地域住民に活動の周知と協力を図る。
- ・彼岸花の植栽による景観形成等の新たな活動を積極的に取り入れ、地域での協働活動の幅を広げていく。



富士山と愛鷹山と稲穂が織りなす風景

協定面積 (ha)	田	-	対象農用地 (ha)	田	-	対象資源	数量
	畑	118.2		畑	118.2	農用地	118.8 ha
	草地	-		草地	-	開水路	-
	計	118.2		計	118.2	パイプライン	32.7 km
組織の構成員	農業者：489人 非農業者：JA富士市岩松支店					ため池	2 箇所
						農道	35.0 km

地域の紹介

富士市を一望できる「岩本山」と、富士川の洪水から農地を守るため江戸時代に築かれた「かりがね堤」という自然と史跡が調和する本地域では、平成22年度まで行われた畑総事業により、農道やかんがい施設が整備され、良質な茶、みかんなどを生産している。また、富士山の眺望が美しいことから、四季を通じて多くの写真愛好家や行楽客で賑わっている。



水路の泥上げ

活動内容

- ・機能診断、補修技術等の研修
- ・遊休農地発生防止のための保全管理
- ・畦畔、農用地法面防風林等の草刈り、補修
- ・施設の適正管理
- ・保育園児、幼稚園児の農業体験（サツマイモ栽培）
- ・広報活動（地域紹介のパンフレット作成、看板作成）
- ・ヒマワリやソバを活用した景観形成活動
- ・福祉施設や保育園への蕎麦の提供



ヒマワリの植栽

地域の将来像

今後も農地及び農業用施設の適切な保全管理を継続的に行っていくほか、「岩本山」と「かりがね堤」一体に広がる農村景観を地域ぐるみで保全・活用していくとともに、新たに粟を用いた景観形成活動や農福連携にも取り組んでいく。



ソバの植栽

課題

- ・パイプラインの更新
- ・交付金の有効的な活用方法

抱負・コメント

- ・考え方や気持ちを素直に言い合える和気藹々とした会議を開催し、地域住民に対して参加を促す声掛けを行っている。
- ・地元農協職員を構成員とすることで、迅速に活動できる体制を取っている。



医療・福祉との連携

協定面積 (ha)	田	29.1	対象農用地 (ha)	田	29.1	対象資源	数量
	畑	3.5		畑	3.5	農用地	32.6 ha
	草地	—		草地	—	開水路	14.6 km
	計	32.6		計	32.6	パイプライン	10.7 km
組織の構成員	農業者：53人 非農業者：原区自治会、白糸小学校、原寄り合い処					ため池	－
						農道	18.3 km

地域の紹介

古来より西方の天子ヶ岳と東方の富士山からの伏流水の恵みにより生まれた田園地帯は、約20年かけて基盤整備され「平成棚田」へと生まれ変わった。この「平成棚田」を起源に地域住民とともに様々な活動を展開している。また、和紙の原料である「三桧」の発祥の地。近年は、芝川のりの復活にも力を入れている。

活動内容

- ・遊休農地の発生状況の把握
- ・施設周辺の草刈り、維持管理、水路泥上げ、機能診断
- ・補修技術の研修
- ・地域との交流（自治会草刈り）
- ・学校教育等との連携（三桧製の卒業証書：白系小学校）
- ・景観形成のため施設に植栽（原寄り合い処、白系小学校）

地域の将来像

地域住民の結束と努力により築いた地域固有の資源を地域内外の人々が共有できる様に他事業とも連携し、農村交流施設（紙漉体験工房・棚田オーナー制度等）を設置し、地域の活性化と特産品の水かけ菜や白系こしひかりのブランド化に繋げる。

課題

- ・様々な活動を展開することで、年間スケジュールが過密になっている。計画的な活動が求められる。
- ・若い世代の参画。

抱負・コメント

- ・駿河和紙の復活を目指す。
- ・しずおか棚田・里地くらぶ等を活用した外部人材の活用をしたい。
- ・平成26年度「白系の里」が「ふじのくに美しく品格のある邑」知事顕彰受賞
- ・平成27年度「平成棚田ノルディックウォーキング」が「新日本歩く道紀行ふるさと道100選」に認定
- ・平成28年度「静岡県景観賞」優秀賞、「富士宮市景観賞」最優秀賞受賞
- ・平成30年度「多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰」最優秀賞受賞



耕作放棄地防止のための保全管理



三桧を使った和紙作りの伝承



菜の花の植栽



啓発・普及(広報活動)

協定面積 (ha)	田	37.2	対象農用地 (ha)	田	37.2	対象資源	数量
	畑	3.6		畑	3.6	農用地	40.8 ha
	草地	—		草地	—	開水路	15.2 km
	計	40.8		計	40.8	パイプライン	10.7 km
組織の構成員	農業者：94人（半野・佐折地区部農会） 非農業者：白糸小学校・西富士中学校PTA、半野区自治会、佐折区自治会、半野婦人会、富士宮市消防団22分団、半野体育振興会、半野漁協、交通分会					ため池	—
						農道	19.6 km

地域の紹介

東に富士山、西に活動組織名の由来となった「天子ヶ岳」を仰ぎ、地域の中心には清らかな半野川が流れている。この恵まれた水資源と県営事業により区画整理された農地により稲作を中心に畑作も行われている。



水路の泥上げ

活動内容

- ・農地の保全及び水路や農道の点検・補修
- ・耕作放棄地の解消
- ・地域一丸となり植栽した彼岸花ロードの整備
- ・日本大学生物資源科学部との一社一村しずおか運動による農村環境の保全活動



彼岸花ロードの整備

地域の将来像

彼岸花ロードを延長するなど、さらに地域一体となった景観向上活動を展開していくほか、農地・農業用施設・農村環境の重要性を地域住民の共通認識としてとらえるため、積極的に活動をPRし、特に若い世代の参画を促していく。

課題

- ・若い世代の参画
- ・鳥獣害対策(特に鹿・猪)



日大との一社一村しずおか運動

抱負・コメント

- ・彼岸花ロードを延長するなど、さらに地域一体となって景観向上活動を展開していく。
- ・解消した耕作放棄地を活用して、日大と協働でサツマイモを栽培している。



焼酎「天子の雫」

縄文の里「おおしか幸区」

活動地域：富士宮市 大鹿窪

協定面積 (ha)	田	14.9	対象農用地 (ha)	田	14.9	対象資源	数量
	畑	2.8		畑	2.8	農用地	17.6 ha
	草地	—		草地	—	開水路	6.8 km
	計	17.7		計	17.7	パイプライン	－
組織の構成員	農業者：33人(久保・洞堀・新田・本門寺用水組合、中山間ほ場整備久保工区推進協議会、中山間ほ場整備新田工区推進協議会) 非農業者：久保の棚田を楽しむ会、大鹿窪子ども会					ため池	－
						農道	5.4 km

地域の紹介

雄大な富士山の湧水を水源とし、清涼で豊富な芝川の水を引く農業用水が、網の目のように張り巡り、美しい田園風景が広がっている。農地は、平成12年度より始まった中山間地域総合整備事業「柚野の里地区」内でのほ場整備事業「新田工区、久保工区、東村工区」による。

活動内容

- ・遊休農地等の発生状況の把握
- ・施設の点検
- ・子ども会による田植え体験
- ・水路の泥上げ
- ・農道の砂利補充
- ・施設周辺の草刈り

地域の将来像

「静岡県景観賞」に輝くほどの素晴らしい景観と縄文時代の集落後「大鹿窪遺跡」などの地域資源を保全すべく、地域内外との継続した交流活動のほか、新たな構成員の拡充、これらの地域資源を次世代へ継承していく。

課題

- ・若い世代の参画

抱負・コメント

- ・平成23年度「静岡県景観賞」受賞
- ・平成25年度「柚野の里」が「ふじのくに美しく品格のある邑」知事顕彰受賞



水路の点検状況



子ども会による田植え



大鹿窪遺跡



柚野の里まつり

南条の里農地保全会

活動地域：富士宮市 下条下区

協定面積 (ha)	田	42.9	対象農用地 (ha)	田	42.9	対象資源	数量
	畑	13.6		畑	13.6	農用地	56.5 ha
	草地	—		草地	—	開水路	9.8 km
	計	56.5		計	56.5	パイプライン	—
組織の構成員	農業者：63人（ＪＡ富士宮上野支店） 非農業者：上野幼稚園・上野小学校・上野中学校ＰＴＡ、下条下区自治会、下条下区花の会、下条下区ランドゴルフ部、下条下区体育部、下条下区美化活動推進会、下条下区防災会（消防19分団）、下条下区民生児童委員、下条下区寿会					ため池	—
						農道	11.2 km

地域の紹介

標高200～300mの平坦な台地に、富士山の豊かな湧水に育まれた芝川を水源として古くから稲作が盛んに行われてきた。活動組織名は鎌倉時代の地頭「南条時光」がこの地域の里づくりに尽力したことによる。

活動内容

- ・遊休農地等の発生状況の把握と解消
- ・活動区域内の草刈り、水路の泥上げ清掃
- ・開水路、農道、早期劣化の防止と維持
- ・施設の補修のための技術向上研修会の実施
- ・富士山と一体化した景観形成活動の計画策定
- ・常葉大学社会環境学部との一社一村しずおか運動による農村環境の保全活動

地域の将来像

農業者が高齢化していく中で、地域全体で耕作放棄地の発生を防ぐほか、農業用資源の管理、環境の保全を行うべく、これまでの清掃や植栽活動はもとより、小学校・幼稚園を交えた生き物調査、体験学習、地域を知るための故郷学習等、幅広く資源保全活動を展開していく。

課題

- ・耕作放棄地解消等により活動範囲が拡大し過ぎるとそれに伴う労力が増えてしまう嫌いがある。

抱負・コメント

- ・地域全体で保全活動に取り組んでいく。
- ・活動を維持・継承していくために、新規耕作者を募る。
- ・耕作放棄地の解消を地主と協力しながら取り組んでいく。
- ・解消した耕作放棄地を活用して、常葉大と協働で大豆を栽培し、「まるごとふじとこ豆腐」等を生産している。さらに、新たな商品開発等も実施していく。
- ・平成27年度「南条の里」が「ふじのくに美しく品格のある邑」知事顕彰受賞
- ・平成29年度耕作放棄地再生活動表彰事業 優秀賞受賞



点検及び機能診断



水路の泥上げ作業



クッションマムによる景観形成活動



まるごとふじとこ豆腐

協定面積 (ha)	田	-	対象農用地 (ha)	田	-	対象資源	数量
	畑	37.5		畑	37.5	農用地	37.5 ha
	草地	—		草地	—	開水路	0.7km
	計	37.5		計	37.5	パイプライン	16.1km
組織の構成員	農業者：61人 非農業者：JA富士市大淵支店、次郎長町内会 他					ため池	-
						農道	2.9 km

地域の紹介

当地域は、富士山麓の南斜面に広がる茶を中心とした樹園地帯である。

昭和49年度から平成8年度にかけて県営畑地帯総合整備事業を実施し、農道や畑地かんがい施設を整備したことにより、生産性の高い営農を展開している。

活動内容

- ・施設の点検、巡回、草刈り、機能診断、破損施設の改修
- ・機能診断、補修技術の研修
- ・景観形成植物の植栽
- ・地域住民との交流活動、学校教育、行政機関との連携
- ・広報活動

地域の将来像

景観形成植物の植栽や地域住民との交流活動を行うことにより、活動参加者の拡充を図るとともに、農業や農村環境への興味・関心をさらに高めていく。

課題

- ・地域住民への活動の周知
- ・活動参加者の拡充

抱負・コメント

小学校や幼稚園と協力して活動を行う事により、子供たちの農業に親しむ心を育てていくとともに、地域の素晴らしさを伝えていく。



菜の花 迷路



景観形成活動（あじさい）

狩宿景観保全会

活動地域： 富士宮市狩宿

協定面積 (ha)	田	9.43	対象農用地 (ha)	田	9.43	対象資源	数量
	畑	3.23		畑	3.23	農用地	12.7 ha
	草地	—		草地	—	開水路	7.6km
	計	12.7		計	12.7	パイプライン	—
組織の構成員	農業者：19人 非農業者：狩宿区区民 他					ため池	—
						農道	4.5km

地域の紹介

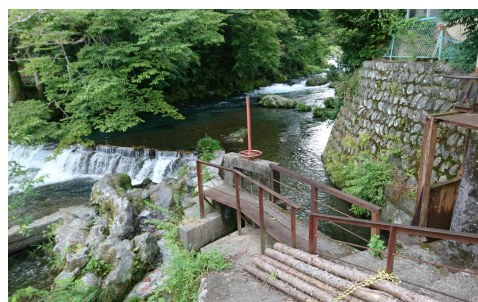
西に「天子ヶ岳」、東に「富士山」を仰ぎ、地域を中心に狩宿用水が流れるこの地域では、約20年かけて県営事業により基盤整備された。東西の山からの豊富な水資源を利用して、水稻や畑作など生産性の高い農業が展開されている。



狩宿の下馬桜

活動内容

- ・施設の点検、巡回、草刈り、機能診断、破損施設の改修
- ・草刈り、機能診断、補修技術の研修
- ・地域の文化継承活動(お祭り)



狩宿用水(取水口)

地域の将来像

地域の草刈りや用水管理作業が今後も継続され、美しい農村環境が維持されていくとともに、地域活動であるお祭りも継続し、人がつながる環境を維持していく。



狩宿用水

課題

- ・地域住民への活動の周知
- ・活動の拡大

抱負・コメント

今後も地域資源である狩宿用水・農地・下馬桜を守り、美しい景観持つ狩宿区を継承していく。

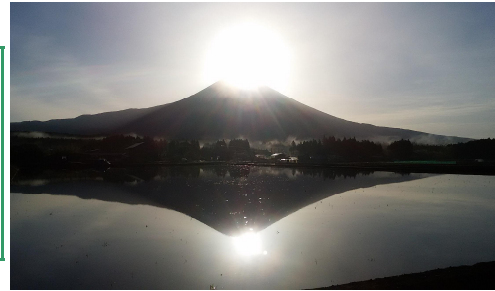
井之頭「さかさ富士が見える会」

活動地域： 富士宮市猪之頭

協定面積 (ha)	田	6.74	対象農用地 (ha)	田	6.74	対象資源	数量
	畑	3.4		畑	3.4	農用地	10.1 ha
	草地	—		草地	—	開水路	4.6 km
	計	10.1		計	10.1	パイプライン	—
組織の構成員	農業者：21名 非農業者：猪之頭区 区民 他					ため池	—
						農道	1.4 km

地域の紹介

当地域は、集落基盤整備朝霧高原地区においてほ場整備され、令和3年に生産性の高い農地へと生まれ変わった。美しい「逆さ富士」が撮影できるほ場は、景観においても保全管理していくべき地域資源として地域で認識されている。



ほ場に映る
「ダイヤモンド逆さ富士」

活動内容

- ・施設の点検、巡回、草刈り、機能診断、破損施設の改修
- ・機能診断、補修技術の研修
- ・地域の文化継承活動（お祭り）
- ・地域住民との交流活動、学校教育との連携



ほ場（全体）

地域の将来像

「逆さ富士」が見られる景観を維持し、農地が地域住民の交流を行う場になることにより、活動参加者の拡充を図るとともに、農業や農村環境への興味・関心をさらに高め、また、地域活性化を図る。

課題

- ・地域住民への活動の周知
- ・活動参加者の拡充
- ・活動の拡充

抱負・コメント

ほ場整備で営農がしやすく、そして美しい景観を得た猪之頭区のは場を今後も継続して管理し継承していく。また、その体制を確立していく。

ふじのくに美しく品格のある邑



静岡県では、農業や美しい景観、地域に伝わる文化・伝統などの県民共有の財産でもある地域資源を保全・活用し、次世代に継承する活動を行う集落等を「美しく品格のある邑（むら）」として、県と県内35市町で構成される「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合」が認定し、情報発信や連合奨励賞、知事顕彰を行っています。令和6年10月末時点で155の地域が認定されています。



具体的な支援内容

①広報

左からふじのくに美しく品格のある邑ホームページ、むらサポのメールマガジンの投稿、季刊誌「むらのおと」の出版を行っています。

県内各地域(邑)の魅力を発信しています。



ふじのくに
美しく品格のある邑とは
農の営みとともに育まれてきた美しい景観、何世代も守



②ワンストップ窓口

地域が抱える課題や悩みを相談できる窓口で、地域づくりアドバイザー等が在籍するNPO団体等、多様な課題に対応できる団体が運営しており、県内4箇所に設置しています。

情報発信や地域づくりに関する研修会も開催しています。



③マルシェへの出店

むらサポ会員であるトヨタカローラ静岡株式会社が主催する「邑マルシェ(県内)」、首都圏イノベーションセンター主催「静岡産直マルシェin大井町(東京都)」を企画運営しています。

④美しく品格のある邑が対象の農村振興事業

◆農村次世代関係人口創出事業

大学等が農山村地域のイベントや作業に参画して、地域についてSNSで発信します

◆農村連携促進支援事業

邑と企業等で構成される組織が実施する、農村資源を活用した地域活性化に向けた取り組みに係る経費を助成します



ふじのくに美しく品格のある邑

富士農林管内の登録邑の紹介

柚野の里 <富士宮市大鹿窪(久保の棚田)>

柚野には、縄文時代の大鹿窪遺跡をはじめ、道祖神などが多くあり、また、織田信長公の首塚伝説のある西山本門寺もあります。

土井の川（三区用水）や安居山用水沿いは、遊歩道が整備されており、用水路沿いに多くの寺が点在しているのもあり、散策コースが設定されています。柚野十寺めぐりをすれば、それぞれのお寺からの富士山や、柚野の様々な景色に出会えます。

春には蔵開き、夏には稲子地区「梅の里」稲子まつり、秋には柚野の里まつりと信長公黄葉まつりが開かれ、どのお祭りも柚野の魅力を発信し、大盛況となっています。

★おすすめ★

石積みでつくられた棚田が点在 西山本門寺と柚野の十寺

土井の川(三区用水)と安居山用水のウォーキング

大鹿窪の縄文遺跡 バタフライガーデン



白糸の里 <富士宮市原(平成棚田)>

県営ほ場整備事業「白糸地区」において整備された水田を「平成棚田」と命名し、富士山麓のおいしい空気と清涼な湧水に恵まれた素晴らしい環境の中で、地域ブランド米「白系コシヒカリ」を栽培しています。

裏作として栽培している「水かけ菜」は富士山の湧水で育った漬物として好評を博しており、インターネット等で販売しています。

地元住民の婦人組織で経営する手打ちそば処「富士山白糸庵」は、常連客や観光客が訪れ、“手作りの味”が好評です。

平成棚田では、世界文化遺産富士山の構成資産である白糸の滝を訪れる観光客が周遊できるノルディックウォーキングコースが整備されています。

また、平成29年度からは毎年3月に「富士山白糸平成棚田祭り」が開催されており、棚田に竹灯籠が設置され、写真家等の多くの人を訪れます。

★おすすめ★

白糸の滝 水かけ菜 ノルディックウォーキング

白系コシヒカリ 富士山白糸庵 文珠祭典の手筒花火

富士山白糸平成棚田祭り





ふじのくに美しく品格のある邑

富士農林管内の登録邑の紹介 つづき①

南条の里 <富士宮市下条下区>

富士宮市下条地区は、古くから、富士山の豊かな湧水に恵まれた芝川を水源として、200m～300mの平坦な台地で稲作が盛んに行われている地域です。

鎌倉時代後期に地域に尽力した「南条時光」の功績に敬意を払い、地域の様々な役職の人々が集い、一丸となって農村環境の保全を行っています。平成23年4月からは、「南条の里農地保全会」を発足させ、ふじのくに美農里プロジェクトの活動に着手し、用水路等の保全活動のほか、遊休農地を活用した事業に取り組んでいます。

その取り組みの1つとして、富士山の眺望の良いスポットで蕎麦の栽培を行い、その収穫した蕎麦を使って、「南条の里蕎麦まつり」を平成25年から開催しています。また、富士常葉大学（現：常葉大学富士キャンパス）との協働により、「大豆プロジェクト」をスタートとさせ、大豆の無農薬有機栽培や廃棄物の出ない豆腐の商品開発の取組みを行っています。

★おすすめ★

クッションマム(菊) 蕎麦まつり 酒蔵開き 菜の花
まるごとふじとこ(豆腐) 手作り味噌



内房の里 <富士宮市内房>

「内房の里」は、稲瀬川、境川に沿った山里に位置し、静かな田園風景が広がっています。この地域では、稲瀬川を水源とし、稲作や畑作が行われているほか、良質なたけのこの産地となっています。

平成24年度から、「内房里づくりの会」を発足させ、ふじのくに美農里プロジェクトの活動に着手し、農用地、用水路等の保全活動のほか、景観形成活動として遊休農地を活用し、菜の花の植栽を行っています。

また、毎年4月の第1日曜日には、「内房たけのこ桜まつり」を開催し、地域を挙げての“おもてなし”の活動を行っています。令和4年度には移動式販売所を㈱IAI富士宮工場と協働で製作し、「内房の里秋まつり」や「土曜市」、「内房たけのこ桜まつり」で利用されています。

★おすすめ★

内房たけのこ桜まつり 内房の里秋まつり 内房たけのこ
菜の花 ざる菊





ふじのくに美しく品格のある邑

富士農林管内の登録邑の紹介 つづき②

天子ヶ岳の里 <富士宮市半野佐折>

「天子ヶ岳の里」は、東に世界遺産「富士山」、西に天子山系「天子ヶ岳」に囲まれた自然豊かな地域です。地域内には、芝川からの清らかな農業用水が流れており、天子ヶ岳や水田の四季の移ろいが訪れる人々の心を懐かしい気持ちにさせてくれます。

平成22年から、「天子ヶ岳の郷を守る会」を発足させ、ふじのくに美農里プロジェクトの活動に着手し、農地や農道の保全や水田に咲くヒガンバナの環境づくりなどを行っています。

平成23年度から一社一村しずおか運動の一環で、日本大学生物資源科学部と協働でサツマイモの定植・蔓返し・収穫の一連の作業を実施しています。

★おすすめ★

白糸コシヒカリ 天子ヶ岳 彼岸花 朝日滝



五感で癒される湧水の里いのかしら <富士宮市猪之頭>

豊富な湧水と1,000haもの森林が広がる「いのかしら」。地域に息づく湧水群は地区のシンボルとなり、癒しを求める人々を引き付けています。また、平成25年度より実施したほ場整備後の水田には、ダイヤモンド富士が映るようになり、多くのカメラマンを引き付けるようにもなりました。

平成29年度から農林水産省の農山漁村振興交付金の交付を受けて、地区の持つ豊かな「自然」や「食」等の地域資源を活用した取り組みを進め、モニターツアーの実施、インバウンド用ツアーの開発、特産品開発などを実施してきました。より持続的な地域発展を図るため、平成31年1月31日にNPO法人「猪之頭振興協議会」を設立しました。

平成30年度には一社一村しずおか運動の一環で、東京都の有名レストランである「フローラ・ディ・マーレ」に猪之頭産の食材を提供するなどの継続的な活動を行う取り組みが始まっており、豊かな地域資源を活用した取組が数多く展開されています。

★おすすめ★

湧水群 陣場の滝まつり 陣場の滝 水車 鱒 わさび
逆さ富士が写る水田地帯





ふじのくに美しく品格のある邑

富士農林管内の登録邑の紹介 つづき③

岩本山とかりがね堤を守る邑 <富士市岩本、松岡>

富士山と茶畑の絶景をなす茶畑は、「富士のやぶきた茶」として、傑出した香りと味で、農林水産大臣賞に輝く“富士のおみやげ”にふさわしい逸品です。

雁公園の近くにある「かりがね産直市」では、地域で生産された新鮮な野菜や果物など、旬のおいしさが詰まった商品を安価で提供しています。

畑地かんがい事業により組織された水利組合を母体に、平成24年度よりふじのくに美農里プロジェクトによる、小学校、農協と協働した農業体験事業や地域保全活動を進めています。平成25年度からは景観形成のため、ヒマワリとソバを植栽し、富士山を背景に美しい風景が形成されます。収穫した新そばは、ケアハウスの入居者にふるまわれ、好評を得ています。

令和5年からは岩松幼稚園・岩松保育園の園児に対する食育活動としてサツマイモ掘りのイベントを開始し、同イベントで令和6年度からは就労支援施設「はみんぐ」の利用者とも連携して作業を行っています。

★おすすめ★

岩本山からの眺望 かりがね堤からの眺望 梨・みかん・大茶園

かりがね祭り そばの花 ひまわり



富士山のふもとの郷を守る会 <富士市中里、神谷南他>

富士山南麓に広がる浮島ヶ原は、かつて浮島沼と呼ばれていました。田植えや稲刈りの際には、泥深い水田に腰まで浸かり、農業を営むには劣悪な環境でした。

そのため、江戸時代から治水、排水工事が行われ、近年になって沼川排水路が完成し、更に圃場整備を実施したことにより、急速に乾田化が進み、現在では優良農地となっています。

地域では、ふじのくに美農里プロジェクトに取り組む組織「富士山のふもとの郷を守る会」が中心となって、未来の担い手に農業に興味を持ってもらうための活動を行っており、近隣にある幼稚園では、農業者の指導の下、レンゲの種まきと摘み取りを行っています。

★おすすめ★

富士山と新幹線と水田の風景 浮島ヶ原の自然 岳南電車

レンゲ畑 富士梨





ふじのくに美しく品格のある邑

富士農林管内の登録邑の紹介 つづき④

大淵笹場 <富士市大淵>

広大な茶園と富士山の眺望を有する大淵笹場は、富士市の北部に位置し、良質な茶を産出する緑豊かな自然環境に恵まれた地域です。この2ha以上に及ぶ茶畑は、現在、茶農家を含む地元住民により先祖伝来の茶畑を後世に継承していくことを目的とし、平成27年に組織された「大淵二丁目さば景観保存会」が主体となり、茶畑の整備に取り組み、美しい景観を保全しています。

景観保存会は、地域資源を活用した地域振興活動にも力を入れており、地域住民や来訪者による賑わいを創出するとともに、国内外への魅力発信を行っています。また、毎年5月「おおぶちお茶まつり」には多くの来訪者があり、茶葉の天ぷらや新茶を振舞っています。

平成30年より、富士山由来の豊かな土壌で育てられた茶葉を使用した紅茶を商品化、令和2年度にはビュースポットに茶の間を設置しました。

令和5年からは、(株)伊藤園と一社一村しずおか運動を開始し、茶園の管理作業やイベント開催を安定して実施できるようになりました。

★おすすめ★

茶畑 お茶 紅茶 富士山と茶畑の美しい景観 おおぶち茶まつり



羽鮒の里 <富士宮市羽鮒>

富士宮市の南側、羽鮒山の裾野に位置し、芝川から導かれた羽鮒用水（安居山用水末端）の豊富な水と、ほ場整備で整形された棚田で農業が営まれている地域です。

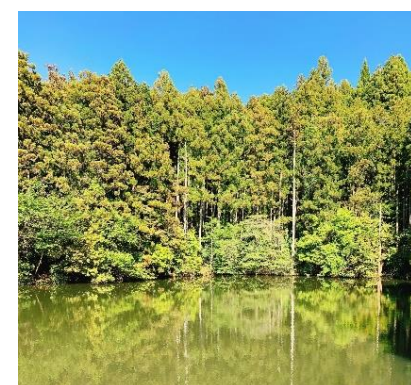
旧芝川町時代、農地を後世に引継ぐために、平成12年から中山間地域等直接支払交付金制度を取り入れ、集落協定（令和3年、協定組織名を「羽鮒の里づくりの会」と命名）のもと、農地等の保全管理を行っているほか、水田の法面に彼岸花を植栽する景観形成にも取り組んでいます。

この地域では、お米のルーツといわれている古代米の「赤米」や「黒米」を栽培しています。「赤米」は、白米と一緒に炊くと桜色に染まり、色鮮やかになるだけでなく、健康によいはたらきが期待できることから近年注目されており、現在、首都圏に向けてネット販売や東名SA 富士川楽座などで販売しています。

また、新鮮で安い地場産品を届けたいという思いから、地元の農家で「野菜クラブ」を設立し、JA 広場や地元の郵便局で販売しています。

★おすすめ★

羽鮒山 羽鮒池 羽鮒山展望台 彼岸花 古代米(赤枚、黒米)





ふじのくに美しく品格のある邑

富士農林管内の登録邑の紹介 つづき⑤

はるやま 2 / <富士市境南、船津南他>

浮島地区はかつて浮島沼と呼ばれた低湿地帯でしたが県営排水改良事業や圃場整備事業により、沼川や昭和放水路の改修、排水路、農道やかんがい施設が整備され、広大な優良農地へと生まれ変わりました。北に富士山と愛鷹山を仰ぎ、大型機械による営農が行われている美しい田園地帯です。

農道沿いには水仙を植栽するなどの景観形成や浮島土地改良区による施設管理、営農活動の継続により、農村空間を守っています。

平成21年からふじのくに美農里プロジェクトを活用し、多様な主体を取り込んだ農地の保全活動にも力を入れており、今後の次世代を担う子どもたちに農業や農村環境への関心を持ってもらえるよう、地域一丸となって活動に取り組んでいます。

また、地域のJA直売所（野菜工房うきうき畑）では、新鮮な地場産品を販売しています。

★おすすめ★

田園風景 お米 お茶 みかん 野菜工房うきうき畑



今神倶楽部 <富士市今宮、神戸>

今宮神戸地区は、富士山麓の丘陵地に位置し、茶やしきみを中心とした畑地帯となっている地域です。

県営畑地帯総合整備事業にて、農道や畑地かんがい施設を整備したことにより、生産性の高い営農を展開しています。

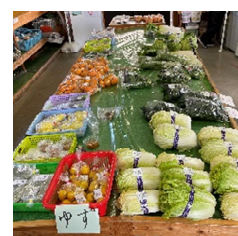
整備された農業用施設の管理や鹿用防護柵の積極的な設置に取り組むとともに、地域の景観形成活動として、遊休農地にドーム菊（クッションマム）の植栽が行われ、非常に美しい景観が広がっています。

平成20年度からふじのくに美農里プロジェクトを開始し、その翌年度からは地域の消防隊の指導下で、地元の中学生と共に畑かん用水を活用した消火訓練を行っており、地域行事を積極的に行っています。

地域のJA直売所（北部産直きずな）では、新鮮な野菜や手作りのお惣菜、根付きしきみ等を販売しており、多くの地域住民が訪れます。

★おすすめ★

ドーム菊 根付きしきみ JA直売所(北部産直きずな)

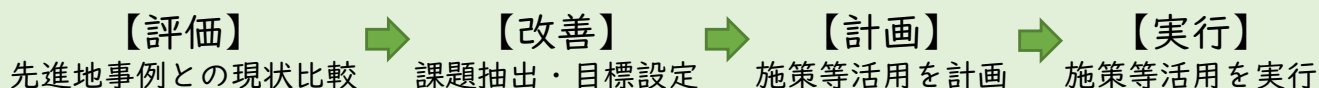


しずおか棚田ネットワーク

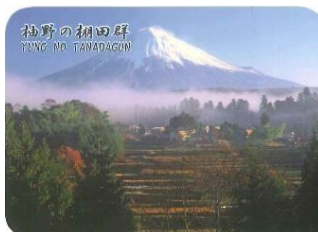
県では、棚田の有する多面的機能の理解促進を図るとともに、都市住民との交流を図り中山間地域の活性化を推進することを目的として、平成11年度に「静岡県棚田等十選」を認定しました。平成20年度にはボランティア組織として「しずおか棚田・里地くらぶ」を設立し、継続的な棚田の維持管理を目的とした棚田地域の保全組織の支援を行ってきました。

さらに、令和4年3月には、農林水産省が「つなぐ棚田遺産」を認定し、県では、認定された各棚田が将来にわたり健全な活動や継承を継続するための支援推進体制として、同年8月に「しずおか棚田ネットワーク」を設立しました。

ネットワークの役割



富士農林管内には「柚野の棚田群」「平成棚田」の2つの棚田があり、棚田に訪れるともらえる“棚田カード”が農水省によって製作され、令和5年度から配布が開始しました。



管内棚田での取り組み

柚野の棚田群 <富士宮市大鹿窪>

富士宮市北部の湧水群を水源とする一級河川芝川が、地域の中心を流れる「柚野の里」。清涼で豊富な水は古くから農業用水として利用され、地区内の水田を網目のように流れています。

平成24年度に中山間総合整備事業「柚野の里地区」が完了したことをきっかけに、「縄文の里 おおしか幸区」を発足させ、ふじのくに美農里プロジェクトの活動に着手し、農用地、用水路等の保全活動を行っています。同会では、遊休農地発生の防止の支援として「久保の棚田を楽しむ会」が毎月第1土曜日の午前中に活動しています。この棚田は、「静岡県棚田十選」に認識されています。



平成棚田 <富士宮市原>

昭和62年から約20年間にわたり、県営ほ場整備事業「白糸地区」において整備された近代的農地「平成棚田」を有する「白糸の里」は、平成26年度にふじのくに美しく品格のある邑に登録されています。

平成棚田では、富士宮浅間大社へ奉納するしめ縄の材料である稲わらを栽培しています。稲わらの生産やしめ縄の製作作業を、地域内外からボランティアを募って実施しています。

令和3年度には、農林水産省より「つなぐ棚田遺産」に選定され、令和4年度からは中山間地域等直接支払制度を活用し、「富士山平成棚田竹灯籠祭り」が開催されています。



一社一村しずおか運動

静岡県では、美しい景観と、県土の保全・水源のかん養など多面的機能を持つ農山村地域の活性化を図るため、多様な主体の参画による農山村づくりを推進しています。

その一環として、農作業支援や環境保全等の社会貢献をはじめとする多様な活動を、農山村と企業のパートナーシップにより協働で取り組む「一社一村しずおか運動」を推進しています。令和4年3月末時点で36の農山村地域と42の企業団体が認定されています。



具体的な取組内容

- ① いいな故里は、守ろう原睦み会（富士宮市） & (有)フジ化学（H21認定）
 - ・ アジサイの植栽など景観を維持する環境保全活動
- ② 天子ヶ岳の郷保存の会（富士宮市） & 日本大学生物資源科学部（藤沢市）（H23認定）
 - ・ 環境保全活動、耕作放棄解消及び農作物の栽培
 - ・ 大学は労力・人材やアイディアを、地元は体験学習のフィールドを提供
- ③ 人穴区、富士丘区（富士宮市） & 富士ミルクランド（富士宮市）（H25認定）
 - ・ 朝霧高原の資源の保全や活用へ取組
 - ・ 酪農体験等の企画
- ④ 南条の里農地保全会（富士宮市） & 常葉大学社会環境学部（静岡市）（H26認定）
 - ・ 保全会が大豆栽培用に遊休農地を提供
 - ・ 常葉大学が“おから”が発生しない豆腐作り「大豆プロジェクト」を企画運営
- ⑤ 猪之頭振興協議会（富士宮市） & (株)フローラ・ディ・マーレ（東京都）（H30認定）
 - ・ 首都圏における地場食材を活用した商品開発、販売促進、情報発信支援
- ⑥ 大淵笹場（富士市） & (株)伊藤園（東京都）（R5認定）
 - ・ 大淵笹場(茶園)の保全活動と活用活動、生葉の生産技術の提供
 - ・ 大淵笹場(茶園)が活性化するイベントの開催

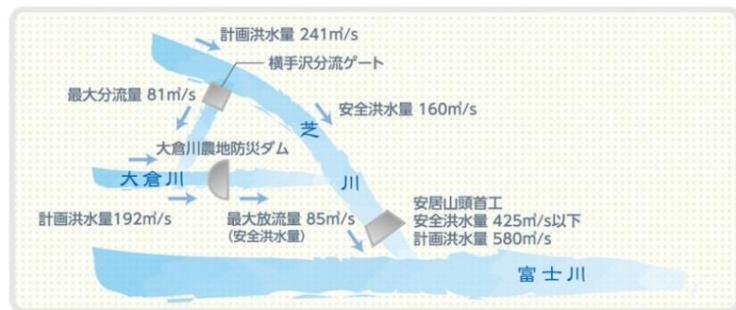


M E M O

大倉川農地防災ダム ―絶景、雄大な富士山に見守られたダム―

ダムの概要

芝川からの分流地点（横手沢）とダム地点に、それぞれゲート及びバルブを設置し、2ヶ所で洪水を調節しています。



ダムの管理概要

通常時の維持管理

日常点検として管理人1名が管理機器の日常点検や、下流警報局の巡視を行っています。また、専門業者の定期点検により機器の老朽化や破損が判明した場合は、修繕工事を実施し、ダム機能の維持に努めています。

洪水時の管理

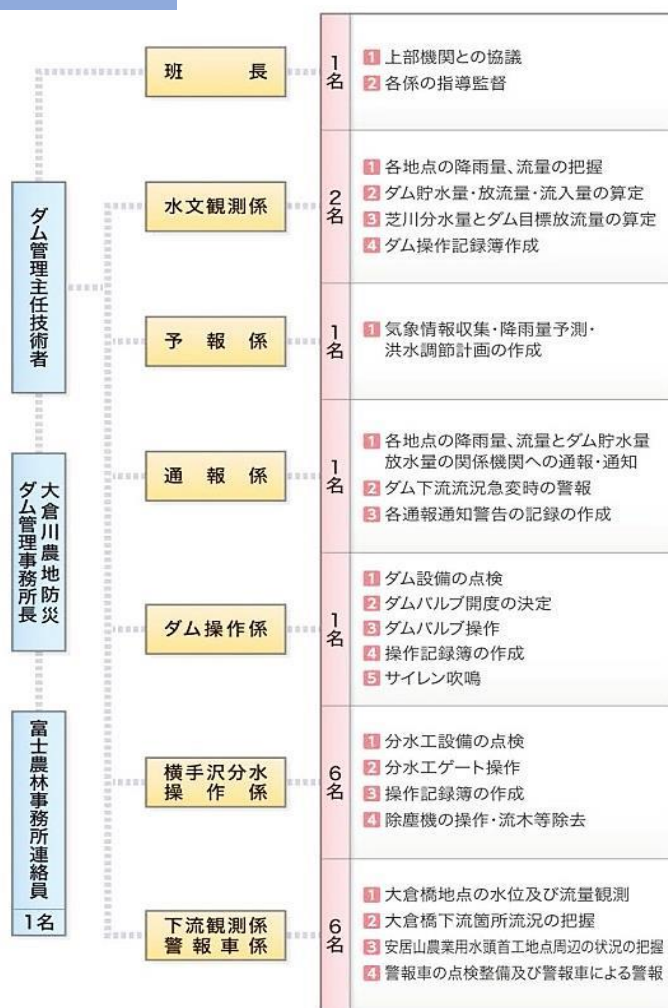
年間を通し、富士農林事務所の担当職員2名～3名が当番者として、警戒しています。洪水に対応する必要が生じた場合、第3配備体制となり、富士農林事務所の職員と富士宮市の職員が配置についています。

配備体制	要因	配備要員
第1配備	静岡気象台からの予報で、大雨または洪水注意報が発令されたとき	2名
第2配備	静岡気象台からの予報で、大雨または洪水警報が発令されるか、その他の洪水が予想されるとき	3名
第3配備	横手沢地点流量が48m³/sに達するか、安居山頭首工地点流量が116m³/sに達するか、その他の洪水が予想されるとき	21名

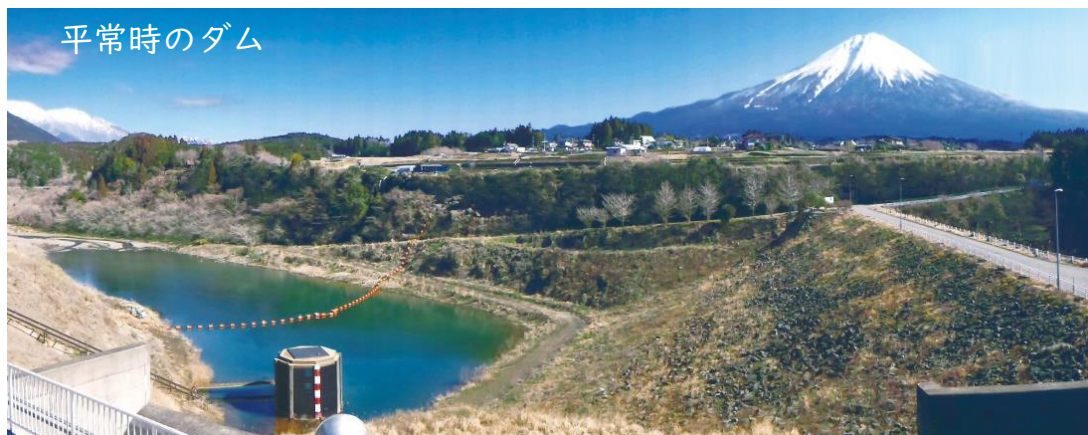
ダムの諸元

ダム所在地	富士宮市精進川字印野2416				
基礎岩盤	第3紀系岩通称石岳層、天子層				
型式	中心コア型、ロックフィルダム	堤高	45.0m	堤長	152.0m
傾斜度	上流面 1:2.6 下流面 1:2.1	堤体積	301,000m³		
満水面積	18.0ha	有効貯水量	2,050,000m³	集水面積	直接 12.6km² 計 57.6km²
調節方式	トンネル内バルブ調整(ホロージェットバルブ2門)				
放水流量	1号バルブ φ1,450m/m 最大35m³/s 2号バルブ φ1,700m/m 最大50m³/s				
型式	越流側溝式				
計画洪水量	設計洪水量 235.0m³/s 異常洪水量 363.0m³/s				
事業費	3,019,000千円				

配備体制



平常時のダム



2020年農林業センサスから見る富士地域の農林業

■農家戸数

	農家戸数	内 訳	
		販売農家	自給的農家
富士地域	4,235戸	1,626戸	2,609戸
静岡県計	50,736戸	24,426戸	26,310戸
全県比(%)	8.3%	6.7%	9.9%



■農業経営体数

	個人経営体	団体経営体 (法人)	団体経営体 (法人以外)	計
富士地域	1,651経営体	69経営体	6経営体	1,726経営体
静岡県計	25,247経営体	634経営体	57経営体	25,938経営体
全県比(%)	6.5%	10.9%	10.5%	6.7%

富士農林事務所の諸情報

◆静岡県富士農林事務所（富士総合庁舎4F）

住所：〒416-0906 富士市本市場441-1

電話：0545-65-2190（総務課） FAX：0545-64-8430

※詳細については富士農林事務所ホームページをご覧ください。

※具体的な取組内容については富士農林事務所SNS(Instagram、Facebook)をご覧ください。



富士農林事務所

SNSをやってます!

＼フォロー・いいねお願いします!／

Instagram QR Code

Facebook QR Code

富士市・富士宮市の農林業施策について情報発信しています

